



西山ハイキングクラブ

にしやま

Nishiyama No.421

2021
December

12



久住山スキ・林ただし

忘れ物はありませんか

2008年8月改訂

■日帰り必携装備			* は基本的な服装としてあげています
長袖シャツ*	ズボン*	登山靴*	
靴下*	雨具(上下、折畳傘)	ザックカバー	
帽子	水筒(テルモス)	ティッシュペーパー	
ゴミ袋	シュリンゲ	ヘッドランプ	
筆記用具	タオル	食料(昼飯)	
非常食	地図	方位磁石	
健康保険証(写し)	お助け袋・会員証	時計	
ホイッスル	個人常備薬	リーダーが指示したもの	
■その他、必要に応じて下記のを追加する			
手袋	ストック	着替え、靴下予備	
コップ	ナイフ	サングラス	
スパッツ	ツェルトまたはレスキューシート	靴紐予備、予備電池・電球	
■リーダーは上記のものに加えて下記のものを持ってくる			
細引き(5mm)10～20m	救急薬品一式	ライターまたはマッチ	

ランクの目安

2011年3月改訂

ジャンル	体力度・技術度	総歩行時間	歩行速度	高度差
超らく	★	4時間以内	ゆっくり	あまりない
らくらく	★★	4～6時間	普通	少しある
ビスターリ	★★★	6～7時間	ゆっくり	ある
一般	★★★★	6～7時間	普通	けっこうある
健脚	★★★★★	7時間以上	速い場合あり	かなりある

解散後報告先

2021年12月改訂

運営委員会・各部会関連	超らく・らくらく・ウォーキング	ビスターリ	一般	健脚・雪・岩・沢・テント
林ただし	五十棲節子 小西弥生**	峯尾靖子	岡庭美恵子	小原清志

**は天王山トレーニングのみ

※会員でない人が参加する場合は、事前にリーダーに連絡してください。

やっちやったヨ

能登恵美子

9月末に滑って転んで左手首を骨折してしまった。その時手首がコキッと音を立てたのを脳で聞いた。折れたんだと自己判断できた。新聞紙を出してテーピングテープで肘まで固定してもらい、病院へ行きレントゲン撮影の時に新聞紙を外すと、手首から下側が支えられず思わず、折れてない方の手が支えに動いた。それから不自由な生活が始まった。使えるはずの手が思う様に使えない。動かない。ギブスの重みは、歳のせいだ鈍ってるのか感じない。だが相当の負担が掛かっているのだろう。背中が痛いし、けんびきもコリコリになって辛い。目の周りは焼けたのかと思うくらい茶色くなっている。こんな顔見たことない。後から思うに相当のストレスがかかっていたようだ。我が家には食洗器が無く、流しの後片付けが辛かった。

靴下を買いに行き、色々な物を見て、ひっくり返っていた値札を見ようとして、値札に触れた時に、骨折してない方の中指の爪のきわを切ってしまった。大したことないと、何も手当てせずいたら中々治らず、痛くて痛くて両手とも水仕事出来ず、使い捨て手袋をはめ指サックしても濡れる。濡れると治りが悪くなるし、ダブルの辛さに耐えながらの生活が2週間程続いた。

山には行けず家に居ると、息子が下処理だけでも大変な、具たくさん筑前煮やぶり大根等、炊いて持って来てくれた。娘も買い物行くけど欲しいものないかと、尋ねて買って来てくれる。一歳すぎの孫と食事を共にして、凄い食欲旺盛な姿に微笑ましく感じた。こぼれたうどんを真剣に上手に拾って、口に運ぶ姿もこれまた微笑ましく、食べている様子を手伝うこと無く、静かに応援しながら見守る。何とも言えない幸せを味わいながら自分を慰めていた。

もくじ

例会案内	3
例会予告	26
山行報告	28
一言感想	68
運営委員会・専門部報告	77
リレー随想	85
投稿	86
クラブインクラブ	89
表紙絵に寄せて・編集後記	90

天王山（トレーニング）

小倉神社からの倒木処理も終わり通行が解除されました。12月から小倉神社コースも再開します。「継続は力なり」体力維持、行きたい山を目指し、寒さに負けずにトレーニングをしましょう。

（前日午後6時55分頃のNHK総合テレビ天気予報、京都市内午前中50%以上の降水確率又は雨マークの時は中止。怪しい時は当日午前8時迄にCLへ問い合わせてください）

日時・集合場所

2021年12月7日、14日、21日いずれも火曜日。

集合場所は小倉神社トイレ前、午前9時半までに。

（小倉神社に参拝してください。登りに反射板を使うのも構いませんが必ず分岐から小倉神社に下山してください。又、天王山頂上まで行くのも構いませんが、早く来て小倉神社に下山してください。）下山は遅くとも午前11時迄にお願いします。

2021年12月2日、9日、16日、23日いずれも木曜日。

集合場所は桜の広場公園トイレ横、午前9時半までに。

（早くに来てサントリー整備地まで往復も可）

下山は遅くとも午前11時迄にお願いします。

コース 火曜日は、小倉神社（67m）～小倉神社柳谷分岐（299m
テーブル）往復（早く来て山頂往復も可）

木曜日は、桜の広場公園（38m）～天王山頂上（277m）

往復（早くに来て、サントリー広場までの往復も可）

荷物の調整、歩く速さは各自にお任せします。

集合時に参加者名簿に名前を記入し、下山時に下山チェック
します。

C L 能登恵美子 吉田京子 *12月より2人担当になります。

S L 各日とも、受付、下山担当者

解散後報告先 小西弥生さん



阿武山

日にち 2021年12月1日(水)

集合 9:30 安威(あい)バス停(茨木市)

※CLは、阪急茨木市駅西口③乗り場9:07発阪急バス77系統で行きます。安威バス停には9:24着予定ですので集合時間に間に合います。

- ◆阿武山は茨木市と高槻市にまたがる281・1mの小さな山です。近くの阿武山古墳には大化の改新の中心人物の一人・藤原鎌足が埋葬されているのではないかとされています。紅葉に期待してゆっくり歩きましょう。
- ◆摂津峡公園・桜広場で解散予定です。ここでのんびりお弁当を食べてもよし、塚脇バス停近くの関西随一の療養温泉・美人湯「祥風苑」で、コロナ感染防止対策をとりながら温泉や食事を楽しむのも良いですね(解散後は自由行動)。雨天中止。不明のときはCLに問い合わせてください。
- ◆申し込みは締め切りました。参加予定はCL・SL除き次のみなさん。
旭、以西、北、久貝、小林、中井、八瀬河、森川、山下美(敬称略)

【アクセス・コース】 ※実歩行約2時間(総行動時間約3時間)

安威バス停～稲荷神社～阿武山古墳～アセビ峠～阿武山～北大阪変電所
～萩谷月見台団地～摂津峡・白滝～摂津峡公園・桜広場～塚脇バス停

【持ち物など】日帰り必携装備、昼食(各自)、地図(25000図「高槻」)

CL : 馬場重明 (TEL 090-1025-1843)

※メール sbaba4910@maia.eonet.ne.jp

SL : 五島ちまり

【解散後報告先：五十棲節子さん】

小塩山から金蔵寺

昨年は大原野神社から小塩山に至る途中にある見事に紅葉したモミジの森を歩き感動しました。また、金蔵寺の風に揺れる色とりどりに紅葉したモミジの大木にも心洗われました。

今年も名残の紅葉を求めてゆっくりと落ち葉を踏みしめ晩秋の西山を楽しみます。

日 時 2021年12月1日（水曜日） 雨天順延
怪しい時は、CLにご連絡ください。

集 合 阪急バス、南春日町バス停 午前9時00分
阪急東向日町から南春日町ゆき8:32発 乗車

コース 南春日町バス停～大原野神社～小塩山～金蔵寺～
大原野神社（解散）南春日町BS 15:03又は15:46
歩行距離約7キロ 歩行時間約5時間30分

持ち物 日帰り一般装備（弁当）コロナ対策グッズ

地 図 西山連峰トレッキングマップ・「北摂・西山」

参加申し込み 8名程度 11月1日8時から CLへ電話かメール
でお願いします。

kyotomineo@yahoo.com

C L 峯尾靖子 090-5669-5272

S L 草場眞知子 080-3036-2011

S L 村上美恵子 090-3971-7817

解散後報告先：岡庭 美恵子さん

島本尾根から金竜寺跡

9月に使った島本尾根から登って太閤道へ。
以前見た金竜寺跡の紅葉をもう一度見たいと思い計画しましたが、
すでに落葉になっているかも知れません。
岩上神社の北側の尾根も少し歩いてみようと思います。

日時： 12月4日（土）雨天時は12月5日（日）

集合 JR 島本駅東口（阪急水無瀬駅側）9時

コース JR 島本駅—ふれあいセンター—島本尾根—太閤道—
若山(P.315.2)—展望所—岩上神社北側の尾根—金竜寺跡
—（戻る）—島本尾根—JR 島本 歩行時間4時間程度
*JR 島本駅東口には有料のバイク（260円/日）、
自転車（100円/日）置き場があります。

持ち物 日帰り必携装備、マスク、除菌グッズ

申込み 11月28日（日） 8時から10名程度

C L 猪倉美佐子（Tel 090-5361-3888）

S L 参加者から

解散後報告先 峯尾靖子さん



ぶらり六甲 六甲縦走① 須磨アルプス

六甲山をほぼ4回に分けて歩いてみたいと思います。西から始めて東へ。
1回目は須磨アルプスです。旗振り山・鉄かい山、いったんニュータウンに入りさらに梅尾山、横尾山、東山と続きます。横尾山は須磨アルプスと呼ばれるゆえんとなる岩稜が続きます。少々遠いもののアクセスは良いです。

日 時 12月4日（土） 雨天の場合は12月11日（土）

集合場所 阪急長岡天神駅 7：40 前から2両目あたり

コース 阪急長岡天神7：48→須磨浦公園駅着9:18

須磨浦公園～旗振り山～鉄かい山～梅尾山～横尾山

～東山～妙法寺駅（解散）

歩行時間 約4時間半

地図 山と高原地図 六甲 摩耶 六甲縦走マップ

持ち物 日帰り一般装備 弁当 コロナ対策

申し込み 11月26日（金）8時からCL迄（メールかSNSで）

CL 吉谷由美子 090-3820-4577 pc y.yumi775@gmail.com

SL 井上美智子 090-6232-3224

解散報告先 岡庭美恵子さん

教育部

ペース登山 【愛宕山 第1回目】

※参加は会員のみです

体験無し・近年不参加の会員はいずれかの日程で参加して下さい。

「過去の体力、過去のもの」いまの体力を知りましょう！！

遅れる・待たせるなどと気兼ねしないで参加しましょう。

山行ジャンルにこだわらずに参加して下さい。

昨年は79分から150分の幅で平均109分でした。

※新しい会員はペース登山を（必ず一度は）体験してください。

【ペース登山って何のこと？ 方法・質問は永柳へ】

日 時 2021年12月5日（日）
集 合 阪急嵐山駅前バス停：8時25分集合
8：31 発清滝行きバス乗車
現地集合：8時55分（金鈴橋渡った付近）
コ ー ス 現地集合場所より山頂本殿・階段下の休憩所まで
下山は大杉谷から清滝に帰ります

リ ー ダ C L : 島田江里子 090-3703-5375

S L : 北千恵子 080-8720-9453

参加者の皆さんへお願い 移動中はコロナ感染予防の行動を！！

事前に申込みをください（当日参加も可）

- (1) 降雨による実施判断は当日7時前までに問合せください。
雨具、防寒具は常時携帯すること。*天候により軽アイゼン
- (2) 山頂で待機の時、汗で身体の冷え防止に着替え忘れないように。
- (3) 休憩など調子を整えて“自分のペース”で登ってください。
しかし、競争と違いますから無理をしないように。
- (4) 登頂時間は、各自の時計で報告してください。
各ポイント通過の時間記録にご協力ください

その他連絡事項

- ・次回「愛宕山」は12月12日、3/19、3/26の3回予定です。
- ・「天王山コース」は3月に1回のみ予定します。
天トレ参加のときに時間を計ってみませんか。
- ・自主的に実施した会員は、永柳に連絡ください。

【解散後報告先 林ただしさん】

例会案内（らくらく）

西山ハイキングクラブ

古都まち歩き

堀川通下がる

JR 京都駅北口から塩小路通りを西に堀川に出て東海道線を潜るといつのまにか 油小路に変わっています

京都の玄関口にある京都発展の痕跡、古里古刹を訪ねます

京都駅跡 京都電気鉄道始発駅 猿寺 輪形地蔵 道祖神社
粟嶋堂 西福寺（綜芸種智院）伏見稻荷御旅所 城興寺

東福寺で解散後、各自由行動（紅葉狩り）

紅葉期の終盤、東福寺は大変混雑します。

特に通天橋や天得院、法堂、は三蜜を避けて観賞してください。

2 Km ほどですが 3 時間程 2 万歩弱舗装道路を歩きます

昼ごろ解散予定

日時 12月6日（月）

荒天で中止の場合のみ 4 日（土）20 時西山グループメールでお知らせします

集合場所 **JR** 京都駅 京都劇場エスカレーター前

集合時間 8時50分

出発 9時

持ち物 雨具 歩きやすい靴、12月の街歩服 マスク

C L 鈴木洋一 090-3055-3484

S L 和泉奈緒美 090-7490-4183

解散報告先 五十棲節子さん

一般

雨天中止

あちこちポンポン山周辺

善峰寺～釈迦岳～原大橋または立石橋

善峰寺から道なき道を経て釈迦岳へ。メンバーの様子を見て（長距離コース）原大橋に下りるか（短距離コース）立石橋に下りる。

日時： 2021年12月7日(火)

集合時間： 8時30分 8時42分発善峰寺行き乗車。

集合場所： 阪急東向日駅 阪急バス停

コース： 阪急東向日駅バス停（8時：42発）＝善峰寺バス停（9：09着）西方向一般道を辿り釈迦岳の真南の尾根に取りつく（この尾根はP554の東に位置する尾根）道なき道なので倒木があるかもしれない～釈迦岳631m 釈迦岳で①長距離コース：ポンポン山を経て原大橋行きか②短距離コース：立石橋行きかを決める。①の場合はポンポン山～本山寺～ロータリー～原大橋 高槻市バス 解散 ＝JR高槻駅 ②の場合はほぼ東南東の一般道を立石橋に下りる。～西代里山公園解散

持ち物： 日帰り一般装備 地図は必携

エリアマップ(京都西山)

2万5千図(淀・法貴・京都西南部・高槻)

コロナ対策グッズ

申し込み：雨などで中止の場合に連絡しますので、SL和泉または小西まで申し込みください。10人程度 12月1日から受付

CL： 林 ただし 090-6986-4392

SL： 和泉 奈緒美 090-7490-4183

小西 弥生 090-2380-4687

解散後報告先：岡庭さん

はじめてのインドアクライミング No.95

やまびこ くらぶ

日時： 12月 8日(水) 14時から17時

集合 原谷「やまびこくらぶ」
初めての方はリーダーにお問合せ下さい。
(阪急西院駅より市バス205系統に乗車、わら天神前下車
13時49分発 M1系統「原谷」行乗車、原谷農協前下車
徒歩3分（1日乗車券は10月から700円になりました。）

参加費 会場費 4,800円を参加者で割ります。

参加者 会員（労山会員も）に限ります。
参加を希望される方は2日前までにC.Lにご連絡下さい。
初めての方歓迎です。一緒に登りましょう。

持ち物

- ・クライミングシューズ、ハーネス（各500円でレンタル可）
安全環付カラビナ、（あればチョーク）、飲物
- ・ビレイヤー（確保者）は確保器、安全環付カラビナ、手袋
- ・各自体調チェック、マスク着用、手洗い、消毒、各自離れて休憩、窓を開けて換気。

C L 猪倉美佐子 (Tel 090-5361-3888)

S L 横山 共栄

解散後報告先 小原清志さん



箕ノ裏ヶ岳（京都周辺低山）

今回の京都周辺低山は、「箕ノ裏ヶ岳」（432.5m）です。10月の京都新聞に岩倉付近の林道で、珍しい蛇を学童が捕まえた記事が載っていました。以前に同じ蛇を見かけました。頭の後ろに黄色いリボンの模様のある蛇で、写真に撮ろうとカメラを出している間に逃げられてしまいました。今回の登りは京都連盟50周年記念誌のP134のルートを利用します。下りは、岩倉村松へ下山します。低山ですが、アップダウンのある山で登りがいがあります。岩倉は、比叡山の眺望では最高といわれています。岩倉村松からは、「国際会館」「四条河原町」行のバスが多数あります。

日 時 2021年12月8日（水） 雨天中止

怪しい時は、午前7時頃に中村まで連絡ください。

集 合 国際会館前京都バス①岩倉村松行乗り場9時35分集合

（9時42分岩倉村松行乗車、乗り場間違えないよう）

コース 地下鉄国際会館京都バス停①（9：42発）～岩倉村松バス停（9：56着）～坂原峠・墓地（墓地からの展望よし）～箕ノ裏ヶ岳～岩倉村松バス停（解散）

歩行時間約4時間程度

持ち物 日帰り一般装備 弁当

申込み 12月3日（金）から5日（日）までにCLへお願いします。

地 図 1/25000 「大原」

C L 中村 好夫 携帯 090-2354-9750

S L 田中義子 藤本真弓

解散後報告先：五十棲節子さん



いろいろな道からポンポン山⑪

日にち 2021年12月11日(土)
集 合 9:15 善峯寺バス停(下記アクセス参照)

■山は歩くルートによって違った顔を見せます。コロナ禍のもと近郊の山でこうしたささやかな山の楽しみ方をしてみませんか。今回は白糸の滝に寄り道をして西山古道を楽しみ、釈迦岳～ポンポン山から西尾根を下って金蔵寺をめざします。最後のひと踏ん張りで灰方まで歩きましょう。

※金蔵寺でタクシーを呼ぶ場合あり(東向日駅まで@約800円)。

■参加希望の方は必ずCLまで申し込んでください。他にたくさんの方のポンポン山計画がありますので、この山行は、近年(2015年1月以降)入会された会員を優先します。2014年以前に入会された会員さんも参加OKです。ただしサポート等をお願いすることがありますのでよろしくお願いします。

■申し込みは12月1日(水)午後7時から予定人数到達まで。CL・SLを除き募集は10人程度。CLの下記メール、携帯SMSなどで申し込んでください。山行時雨天の場合は中止。不明時はCLまで問い合わせを。

【アクセス】

善峯寺バス停までの交通手段は自由です。阪急バスのJR向日町8:35発→阪急東向日8:42発に乗車すれば、集合時間に間に合います。

【コース】

善峯寺バス停～白糸の滝～大沢峠～大展望台～釈迦岳～ポンポン山～リョウブの丘～森の案内所～無縁塚～金蔵寺～灰方バス停

※実歩行 約5時間(総行動 約7時間)

【持ち物】

日帰り必携装備、感染防止対策グッズ(不織布マスク、アルコールジェル等)、地図(25000図「京都西南部」or「山と高原地図」)

CL: 馬場 重明 (TEL 090-1025-1843)

※メール sbaba4910@maia.eonet.ne.jp

SL: 島田江里子・永本芳江

【解散後報告先: 岡庭美恵子さん】

関西山城歩き③ 小谷城跡

今回は戦国大名浅井氏の本拠・小谷城（滋賀県長浜市小谷郡上町）を訪れます。信長との激しい攻防戦が行われた山城で、激戦の跡が各所に残っています。大河ドラマ「～江姫たちの戦国～」ゆかりの地で浅井三姉妹誕生の地でもあります。

(5/17日に一度計画しましたが緊急事態宣言発出の為延期になりました)

日時： 2021年12月11日(土曜日) 雨天中止

集合： 7時45分 JR京都駅2番ホーム 前から4両目付近

琵琶湖線新快速近江塩津行8時00分発に乗車します。

切符はJR河毛まで(9:17着)(参考：山崎から片道1980円)

(参考：山崎～河毛は97.4kmですが高槻～河毛は片道104.9kmですので、往復で200kmを越え、ジパングが使えます。3割引きで往復2770円。)

(参考：12月11日から青春18きっぷ使用可。5枚で12050円 1枚2410円)

希望者は村田まで連絡してください)

コース： JR京都駅(新快速8:00発)⇒JR河毛駅(9:17着)～徒歩約2km～小谷城戦国歴史資料館(入場料300円)～小谷山城登山口～番所跡～御茶屋跡～桜馬場～大広間～本丸～大堀切～京極丸～山王丸～六坊跡～小谷山山頂(大嶽・展望良)～六坊跡～清水谷～国道～徒歩約2km～JR河毛駅(解散)

約6.5km 15時解散予定 河毛駅から毎時22分に新快速あり

持ち物： 日帰り一般装備 弁当 コロナ感染防止グッズ

参加申込： 12/1～7日CL、SLにメールでお申し込みください。

特別講師： 中村好夫さん

CL: 林 導 080-3767-0749 hayashio@maia.eonet.ne.jp

SL: 村田君代 090-9703-7175

解散後報告先: 峯尾靖子さん

12月例会案内（ビスターリ）

雨天中止

はかまごしやま
立木山～袴腰山

今年1月、雪が舞う寒い中、立木観音にお参りしました。
この1年無事に過ごせたお礼と袴腰山への稜線の黄葉を楽しみに歩きます。

- 日時 12月11日(土)
- 集合場所 JR石山駅 改札前
- 集合時間
- ・ 京都 8:30 発新快速米原行乗車—石山駅着 8:44
トイレを済ませ改札前に集合
 - ・ 京阪バス①番乗場
新浜行 8時54分発乗車—南郷着 9時09分
- コース JR石山駅＝京阪バス南郷—立木観音—立木山—
袴腰山—南郷洗堰—JR石山—京都
(歩行時間 4時間程度)
- 持ち物 日帰り必携装備、マスク、除菌グッズ
(立木観音境内はマスク着用)
- 申込 12月5日(日) 8時から10名程度
- CL 猪倉 美佐子(Tel 075-958-2400)
- SL 参加者から

解散後報告先 峯尾靖子さん



教育部

ペース登山 【愛宕山 第2回目】

※参加は会員のみです

体験無し・近年不参加の会員はいずれかの日程で参加して下さい。

「過去の体力、過去のもの」いまの体力を知りましょう！！

遅れる・待たせるなどと気兼ねしないで参加しましょう。

山行ジャンルにこだわらずに参加して下さい。

昨年は79分から150分の幅で平均109分でした。

※新しい会員はペース登山を（必ず一度は）体験してください。

【ペース登山って何のこと？ 方法・質問は永柳へ】

日 時 2021年12月12日（日）
集 合 阪急嵐山駅前バス停：8時25分集合
8：31発清滝行きバス乗車
現地集合：8時55分（金鈴橋渡った付近）
コ ー ス 現地集合場所より山頂本殿・階段下の休憩所まで
下山は保津峡駅に降ります
リ ー ダ C L：木地弘恵 090-3944-3560
S L：福田設子 090-5901-9206

参加者の皆さんへお願い 移動中はコロナ感染予防の行動を！！
事前に申込みをください（当日参加も可）

- （1）降雨による実施判断は当日7時前までに問合せください。
雨具、防寒具は常時携帯すること。*天候により軽アイゼン
- （2）山頂で待機の時、汗で身体の冷え防止に着替え忘れないように。
- （3）休憩など調子を整えて“自分のペース”で登ってください。
しかし、競争と違いますから無理をしないように。
- （4）登頂時間は、各自の時計で報告してください。

各ポイント通過の時間記録にご協力ください

その他連絡事項

- ・次回「愛宕山」は3/19、3/26の2回予定です。
- ・「天王山コース」は3月に1回のみ予定です。
天トレ参加のときに時間を計ってみませんか。
- ・自主的に実施した会員は、永柳に連絡ください。

【解散後報告先 林ただしさん】



雲山山峰

日にち 2021年12月13日(月)
集 合 西明石行普通電車中(京都駅7:06発)
※下記時刻表でどの駅からでも分散乗車ください

- 大阪と和歌山の県境に連なる紀泉アルプスの最高峰・雲山山峰(490m)に登り、紅葉を楽しみましょう。大阪までは普通電車で座って行きます。
- 誘い合わせて同じ駅からの乗降がまとまれば、青春18キップを使って安く行くこともできます(往復約3200円が2410円)。申し込みの際にJRの乗降駅をお伝えください。CLが仲介しますが、まとまらない場合は各自で18キップを買うか、通常運賃で行くか対応をお願いします。この場合は大阪駅など途中駅や山中溪駅で合流も可能です。(CLに申し出)
- 申し込みは10日前の12月3日(金)午後7時から予定人数到達まで。**CL・SLを除き10人程度募集。CLの下記メール、携帯SMS等で申し込んでください。山行時雨天の場合は中止。不明時はCLまで問い合わせを。

【アクセス】

西明石行普通電車の各駅発時刻は次のとおり。*CLは向日町から乗車。
京都7:06→西大路7:09→桂川7:12→向日町7:14→長岡京7:18→山崎7:21→島本7:24→→大阪7:57⑥着/8:04①発→<紀州路快速和歌山行>→9:26山中溪 *大阪駅(①番線)で乗車の紀州路快速は、8両編成で到着しますが1~4号車が関空行、5~8号車(後ろの方)が和歌山行です。

【コース】※総行動時間 約6時間30分 *帰京は19:00前後を予定
山中溪駅~銀の峰コース登山口~第二パノラマ台~第一パノラマ台~四ノ谷山~雲山山峰~地蔵山~展望広場~六角堂~JR紀伊駅(予定16:36発)

【持ち物】

日帰り必携装備、地図(25000図「岩出」「淡輪」)

CL : 馬場重明 (TEL 090-1025-1843)

※メール sbaba4910@maia.eonet.ne.jp

SL : 深田雅子

【解散後報告先: 岡庭美恵子さん】

林道から 酒解神社付近

天王山頂上の下、酒解神社あたりまで、林道を歩いていけます。春にはミツマタの群生が見られる場所です。また、展望の良い場所もあり、とても気持ち良いです。あと少し山道を登れば頂上に着きますが、今回はいきません。帰りは大山崎山荘の庭にお邪魔して冬の花を見たり、見事なクリスマスリースを見たりしましょう！ゆっくり、休憩多めで歩きます。是非、ご参加ください。

日時 2021年12月15日（水）

集合 阪急大山崎駅改札口10時（桜の広場10時10分もOK）

コース 阪急大山崎駅－桜の広場－竹の道－宝寺－竹の道－児童施設裏の駐車場－林道－酒解神社－展望所－林道－宝寺－大山崎山荘庭－阪急大山崎駅 解散
歩行時間3時間程度

持ち物

リュック 弁当 雨具 など
) コロナグッズ（ジェル、マスク、ジッパー付ゴミ袋）など。

CL 山下美喜子 090-2100-4984

SL 安井昇太 090-3923-5513

申し込みは、12月1日から10日まで CL山下まで
メール歓迎

解散後報告先 五十棲節子さん

12月例会案内（一般）

雨天中止

鏡山～城山（希望ヶ丘）

雨で中止になった秋の集中登山のコースの1つだった鏡山から、今回は城山まで足を延ばします。

天候によってはコースを短縮、変更等あります。

初冬の希望ヶ丘山稜を歩きましょう。

日時	12月18日(土)
集合場所	JR野洲駅 改札前 8時55分
時間	近江バス発 9:05
	* JR京都駅 8:07 発米原行乗車野洲 8:40 着又は " 8:22 " 8:55 着乗車
コース	近江バス 9:05 発三井アウトレット行鏡登山口 9:15 着 あえんぼ広場—鏡山—立石山—古城山—城山—希望ヶ丘公園西ゲート—野洲駅（帰りのバスは西ゲート発 毎時37分のみです。野洲駅までは裏道を約1時間歩く 予定ですが、時間が合えばバスに乗車します。ゆっく りバスを待って乗車されてもかまいません。） (歩行時間 5時間位)
持ち物	日帰り必携装備、マスク、除菌グッズ
申込	12月10日(金) 夜7時から10名程度
CL	猪倉 美佐子(Tel 075-958-2400)
SL	深田 雅子 解散後報告先 岡庭美恵子さん



山科から大文字7 小関越え

前にも実施しました小関越えです。気持ち良い山道です。最後の逢坂山からの琵琶湖の眺めは、圧巻です。降りた 蟬丸神社は、由緒ある神社で、伝説も感動するものがあります。また、1年の締めくくりにカネヨのうな井をいただくのもよいか？

「これやこの 行くも帰るも 別れては
知るも 知らぬも 逢坂の関」 蟬丸（百人一首）

日時 2021年12月18日（土） 9時～15時

集合 JR山科駅 9時 改札を出たところの広場

コース 山科駅—毘沙門堂—雨社—如意ヶ岳—長良山—小関越え

小関峠—逢坂山—蟬丸神社—京阪大谷駅 解散

歩行時間 6時間

持ち物 日帰り一般装備 弁当 防寒具

コロナ対策（マスク、消毒用ジェル、ジッパー袋）

地図 1/25000 京都東北部など

申し込み 12月10日～ 先着順 10名程度（メール歓迎）

CL山下まで

CL 山下美喜子 090-2100-4084

SL 安井昇太 090-3923-5513

当日は 検温してきてください。

解散後報告先 峯尾靖子さん

八王子山・神宮寺山・三石山（比叡山道）

今回の比叡山道は、八王子山（381m）、神宮寺山（447m）、三石山（675.7m）の山をめぐる。登り口は、日吉大社の東本宮（二ノ宮）からで、回峰道の道筋でもあるそうです。日吉大社の境内を通るため、入苑協賛料300円が必要です。少し長いコースなので、下山は八瀬へケーブルを利用します。

日 時 2021年12月19日（日）（雨天中止）
怪しい時は、7時00分までに連絡ください。前日に判断し、西山メールでもお知らせします。

集 合 JR京都駅湖西線3番ホーム先頭車両付近 午前8時30分
（近江今津行8：41発に乗車、比叡山坂本駅まで）

コース JR京都駅（近江今津行8：41発）～JR比叡山坂本駅（8：59着）江若バス（ケーブル坂本駅行9：10発、250円）
⇒日吉大社前（9：15着）～日吉大社（入苑料300円）
～八王子山・牛尾宮～神宮寺山～行者道～三石山～恵心僧都廟～横川・元三大師堂～北山トレイル⑫～回峰行道・峰道・玉体杉～西塔・釈迦堂～スキー場跡～叡山ケーブル・比叡駅（550円）～叡電八瀬比叡山口駅（解散）
歩行時間約6時間00分程度

持ち物 日帰り一般装備 弁当 地図 1/25000「京都東北部」

申込み 12月13日（月）から受付、締切12月16日（木）まで。
多数の場合は班分けします。

C L 中村好夫 075-954-6558
090-2354-9750
S L 北川真理 075-934-2083

解散後報告先 岡庭美恵子さん



和気アルプス・神ノ上山

日にち 2021年12月19日(日)

集合 JR和気駅 午前10時10分 ※下記

◆岡山県の和気アルプスに登りましょう。低山ながら尾根上の景観はまさにアルプス。槍、穂高、涸沢などの山々が迎えてくれます。神ノ上山まで足を延ばし全山縦走を楽しみます。急坂、ザレ場など厳しい所もあります。
◆誘い合わせて同じ駅からの乗降がまとまれば、青春18キップを使って安く行くこともできます(往復約7000円が2410円)。申し込みの際にJRの乗降駅をお伝えください。CLが仲介しますが、まとまらない場合は各自で18キップを買うか、通常料金で行くか対応をお願いします。この場合は途中駅や和気駅で合流も可能です。

■申し込みは2週間前の12月5日(日)午後7時から予定人数到達まで。

CL・SLを除き10人程度を募集します。できるだけCLの下記メール、携帯SMSなどで申し込んでください。山行時雨天の場合は中止ですが、判断がつかない場合はCLまで問い合わせてください。

- 【アクセス】※下記の経路を参考に。※高槻7:42発の新快速に乗車
[往] JR京都線・西明石行乗車＝桂川7:21→向日町7:23→長岡京7:26→山崎7:30→島本7:32→7:36高槻着／7:42発→<新快速・播州赤穂行(京都発7:29)>→9:30相生9:32→<山陽本線・岡山行>→10:06和気着
[復] 和気駅15:42発で長岡京駅着18:19、16:12→18:52、16:44→19:22
【コース】 ※実歩行4時間30分(総行動時間約6時間)
和気駅～登山口～和気富士～観音山～前ノ峰～穂高山～涸沢峰～奥ノ峰～神ノ上山～白岩様～馬の背～山の学校～和気中～和気駅
【持ち物】 日帰り必携装備、防寒着、地図・25000円「和気」

CL：馬場重明 (TEL 090-1025-1843)

※メール sbaba4910@maia.eonet.ne.jp

SL：能登恵美子

【解散後報告先：林ただしさん】

Enjoy 大文字山北斜面散策道

シリーズ第12回（最終）です。今年1月から大文字山北斜面散策道の地図を使って番号が記されている縦横無尽に伸びた道をほとんど歩きました。今回は番号のふられていない黒色の道も歩きます。危険な道や不明な道もあり、誤って道を進まないよう確認しながら歩きましょう。

日 時 2021年12月22日（水曜日） 雨天中止

集 合 銀閣寺前公衆トイレ横 午前9時00分

コース 八神社～①～⑦太閤岩坂道～太閤岩～黒色の道～藤見台～⑰中尾の滝尾根道～⑬～出合坂四辻～⑭～北2～三角点～⑱～黒色の道～天の原（フライパン）～⑧天の原道～夢見庵～⑯～孫熊山三叉路～出合孫熊山四辻～⑫～⑳琵琶の滝尾根道～パノラマビュー～琵琶の滝～㉔～尾根登り⑱へ～⑤メタセコイヤ坂道～水場（解散）

行動時間：約5時間30分

持ち物 日帰り一般装備、弁当、地図、コロナ対策

申込み 12月15日（水）午後7時からCLまで

CL 池澤晶子 090-8383-5857

SL 能登恵美子
福田設子

解散後報告先 岡庭美恵子さん



初歩から学び楽しむ

目俵・インドクライミング②③

吹田市・目俵市民体育館のクライミングウォールは、易しいルートもたくさんあるので、高齢者から子どもさんまで楽しんでいます。感染防止対策をとりながら、初歩からインドクライミングを学びましょう。

日時	2021年12月25日(土) 9:00~12:00
会場	吹田市目俵市民体育館 ※はじめての方は案内します (大阪府吹田市目俵町1-11 ☎06-6383-3017) ※JR吹田駅から徒歩約10分、阪急相川駅から徒歩約15分
参加費	600円(吹田市民以外の体育館利用料金)
参加者	会員および労山会員。安全なビレイ(確保)は体重差20kgまでです。現状では80kgを超える方は参加をご遠慮下さい。 ※貸し切りではありませんので一般市民の方もいっしょになる場合があります。
持ち物	ハーネス、安全環付カラビナ(大) ※これらは無料貸出し有 クライミングシューズ(初めての方は室内用運動靴でも可) 飲み物(飲食禁止ですがペットボトル等蓋つきはOK) ※ビレイのできる方(クライミングウォール使用登録証保持者)は確保器、手袋、チョークなども持参してください。

- 参加希望の方はCLの下記メール・携帯SMS等で申し込んでください。
コロナ感染防止対策で体育館が人数制限をしております、計9人までです。
超過した場合は、先着順を基本にしながら相談して参加者を確定します。
- 申し込みは2週間前の12月11日(土)午後7時から3日前の22日(水)

CL 馬場重明(090-1025-1843)

※メール sbaba4910@maia.eonet.ne.jp

SL 北川真理

[解散後報告先:小原清志さん]

蓬莱峡・六甲最高峰

蓬莱峡の奇峰群を見ながら、座頭谷を辿り、六甲最高峰を目指します。帰りは有馬温泉迄下り、時間に余裕があれば、温泉に浸かって帰りたいと思います。

日 時 2021年12月26日(日)

集 合 阪急長岡天神 7:00 集合

阪急長岡天神 7:05→7:33 十三 7:43→8:13 宝塚

(阪急バス) 宝塚 8:27→8:40 座頭谷

コース 座頭谷バス停～船坂峠～六甲山頂～有馬温泉 15:20 (解散)

帰りバス: 有馬温泉発 16:01→16:59 宝塚

又は 17:01→17:59 宝塚

実歩行時間 5 時間半

持ち物: 日帰り一般装備、ストック・弁当、マスク

地 図: 山と高原地図「六甲・摩耶・有馬」

参加者: 12月1日朝8時からCLに申し込んでください(8人)

CL 田村 太二 携帯 090-2108-6099

Eメール kitto@nike.eonet.ne.jp

SL 参加者から

解散報告先 小原 清志さん

1月例会（雪）

上高地&乗鞍高原スノーシュー

白銀に覆われた静寂な真冬の上高地と乗鞍岳の麓に広がる森をガイドと共に歩きます。氷瀑、凍結した池、広い牧場から乗鞍岳を眺めながら美しい大自然の中でスノーシューを楽しみたいと計画しました。宿は温泉民宿です。雪景色を眺めながらの乳白色の露天風呂温泉、地元食材を使った宿自慢の郷土料理も楽しみです。

日程 2022年1月31日（月）～2月2日（水）

宿泊先 温泉民宿 唐松荘 tel 0263 93 2258

行程 1月31日(月) 京都駅6:51発(ひかり636号)名古屋7:42着 名古屋8:00～10:06松本着～乗鞍高原(送迎車)11:30 宿到着 午後スノーシュー
2月1日(火) 上高地スノーシュー
2月2日(水) 乗鞍高原スノーシュー
夕方、ガイドと共に送迎車で松本駅へ
松本駅19:07～京都22:08 解散

参加費用 約48,000円

(京都～松本往復(ジパング利用)・宿・ガイド料・送迎含む)

募集人員 8名 12月2日(月) 午前8時よりCLにメールか
ラインで申し込み下さい。

CL 峯尾靖子 090-5669-5272

kyotomineo@yahoo.co.jp

SL 草場眞知子 080-3036-2011

留守本部 永柳辰夫さん

2月例会（雪）

福島県・裏磐梯スノーシュー

福島県・裏磐梯休暇村に2泊してパウダースノーの樹林を歩き、青色に輝く神秘の五色沼や不動滝、磐梯山の噴火の脅威を間近に感じられる火口壁や「氷瀑・イエローフォール」をガイドと共に楽しむスノーシュートレッキングを計画しました。雪見露天温泉・福島牛グルメなども楽しみたいと思います。

日程 2022年2月23日（水）～2月25日（金）

行程 2月23日（水）神戸空港8：30～仙台空港9：40（スカイマーク）仙台空港～猪苗代駅着13：27（送迎車）
着後、宿周辺で脚慣らし（裏磐梯休暇村泊）
2月24日（木）五色沼、不動滝スノーシュー（同泊）
2月25日（金）「氷瀑イエローフォール」スノーシュー
猪苗代駅～仙台空港～神戸空港 21：05 解散

参加費用 約55,000円

（航空券、JR往復・ガイド料・送迎・ホテル・リフト全て含む）

募集人員 4名

12月2日（月）午前8時より

CLにメールかラインで申し込み下さい。

CL 峯尾靖子 090-5669-5272

kyotomineo@yahoo.co.jp

SL 草場真知子 080-3036-2011

留守本部 永柳辰夫さん

ジャンル 一般	山 行 報 告 西山ハイキングクラブ		
行き先	大船山・平治岳・三俣山		
日時	2021年10月20日(水)～24日(日)	天気	21日曇りのち雨 22日曇りのち晴 23日晴れ
リーダー	山下美喜子	サブリーダー	片山富子
<p><参加者> 女性6名 鹿島和子 片山富子 木下敦子 田中義子 藤下恵美子 山下美喜子</p>			
<p><コースタイム></p> <p>20日 大阪南港サンフラワー乗船出発19:05 船中泊</p> <p>21日 別府港サンフラワー下船6:55ータクシー九重登山口・ビジターセンター9:40ー長者原登山口9:50ー雨が池11:30ー坊がつる避難所12:50 昼食13:20発ー法華院温泉山荘13:40 泊</p> <p>22日 山荘発7:40ー坊がつるー大船山登山口8:00ー段原9:40ー大船山頂上10:30ー段原11:20 昼食11:50発ー北大船山ー大戸越ー平治岳南峰14:00ー大戸越ー坊がつる16:00ー法華院温泉山荘16:30 泊</p> <p>23日 法華院温泉山荘6:40ーすがもり避難小屋8:10ー三俣山西峰8:50ー三俣山本峰9:40ー西峰ーすがもり避難小屋11:00 昼食11:30発ー大曲ー九重観光ホテル13:20 解散 ホテル内 牧の戸温泉 タクシー15:50ー別府港サンフラワー乗船出発19:35 船中泊</p> <p>24日 大阪南港サンフラワー下船7:35</p>			
<p><会計報告></p> <p>収入 参加費 54100円×6人=324600円</p> <p>支出 フェリー往復 23610円×6人=141660円</p> <p>タクシー代往復 25000円×2回=50000円</p> <p>宿泊(2泊弁当込み) 21500円×6人=129000円</p> <p>団子代 500円×6人=3000円</p> <p>事務費 940円</p> <p>支出合計 324600円で残なし</p>			

<リーダー報告>

> 会計木下敦子さん 救急鹿島和子さん 記録片山富子さんに担当していただいた。

> **21日** 順調に別府港につき 待ち合わせのタクシーが早めに来ていた。親切なドライバーで観光スポットの写真、湯布院町めぐりコースを通り案内も詳しくしてくれた。九重ビジターセンターの係り員は親切にコースや紅葉情報を教えてくれた。雨が池、坊がつるの湿原は広大でススキが一面に光っていた。周りの山並みの拓がりが雄大であった。雨がばらつき避難小屋で昼食をとる。食後雨がよく降ってきた。温泉は湯の花の浮かぶぬるい温泉であった。人数制限の中で入湯。山情報交流した。山荘の食事は品数多く、味がよく、とても好評であった。部屋は2室用意された。

> **22日** 大船山に向かう。山並みはなだらかに見えたが、登山道は岩ごろで大から小あり、ずっと悪路を歩いた。段原の分岐に着くと広場で見晴らしよく、良い休憩場所であった。大船山はガスがかかっていたが、時々ガスが消え御池がみえ、その周りの紅葉が美しく、登山者たち皆で感銘の声をあげた。平治岳に向かう大戸越までの下り道は滑りやすい土・石でまた悪路であった。上りは、一面ミヤマキリシマにおおわれていて、道幅が狭くよく木にひっかかった。上部にロープによる大岩登りがあったが、教育部の岩トレのおかげで皆さんクリアした。山頂からの眺めを堪能して坊がつるに向かい下山する。黒土泥の悪路と聞いていたが、半乾燥していた。滑らないよう気をつけて降りた。平治自然を守る会のおかげであろう。道が整備され、案内の印がしっかりあり、迷わず進めた。

> **23日** すがもり分岐に向かう登山口は、前日の思いこみで間違え20メートル程行き引き返した。地図で方向確認、登山者の情報を得て、なんと山荘の裏からの道であることがわかった。ゴロゴロ道を行くと、北千里の広い砂原が開けていて、眼前にイオウ山がそびえ、感動の場所であった。すがもりからの登りは、笹の間の岩や黒土の道で滑り注意であった。三俣山主峰から大鍋小鍋火口跡が見え、南峰、北峰を見渡すことが出来た。ここから見る紅葉は素晴らしいらしい。下りは、上り登山客が続き、すれ違い待ちが頻繁にあった。すがもり避難小屋で、青空と三俣山を見上げ、昼食をとる。最後の下りは順調に大曲を通過し九重観光ホテルに着いた。500円で、かの有名な牧の戸温泉に入湯できた。

> ヒヤリハットなし

記入者

山下美喜子

<ジャンル> 一般	 山行報告			西山H C
行き先	大文字山～長等山			
日時	2021年10月20日(水)	天気	晴	
C L	馬場重明	S L	谷口信子、福田設子	
<p>《参加者》 13人(男性3人、女性10人) —— 以西貞子、太田純江、加藤ゆり、木地弘恵、北千恵子、北村初恵、久保まさ子、谷口信子、永本芳江、馬場重明、福田設子、前原利生、安井芳男 ※敬称略</p>				
<p>《アクセス・コースタイム》 JR山科駅改札口(8:30集合)～8:40 諸羽神社(ストレッチ) 8:50 発～9:05(休憩5分)～9:13 諸羽山(220m)～9:28 柳山(261m)～9:45 蔭山(302m 休憩5分)～10:13 T字路(休憩5分)～10:28 P381(毘沙門山)～11:00 雨社(休憩5分)～11:30 大文字山三角点(昼食) 12:00 発～12:25 如意ヶ嶽(472m 休憩5分)～13:05 石庭(休憩10分)～13:43 長等山(354m 休憩10分)～長等山三角点(370m)～14:25 長等山テラス(休憩10分)～15:05 早尾神社～15:15 皇子山公園トイレ前(解散)～15:30 JR大津駅 15:38 発→各駅へ</p>				
<p>《リーダー報告》</p> <p>◆10月末に予定している大杉谷山行の足慣らし山行として計画したが、大杉谷参加者以外にも参加を呼びかけた。キャンセル待ちの人も含めて申し込まれた全員に参加いただき、楽しんだ。朝から冷たい風が吹いて肌寒い一日だったが、紅葉はこれからというところ。</p> <p>◆S L福田さんを先頭に、諸羽山、柳山、蔭山と踏破。いままでなかったと思うが、P381に「毘沙門山」の小さな表示板がかかっていた。もともと特徴のないピークで、昔の連盟の読図山行でも「P381のピークはどこ？」が課題になるくらい。ちょっと名前に負けていますね。</p> <p>◆雨社を訪ね、大文字山三角点で昼食。平日にもかかわらずたくさんの登山者で賑わっていた。如意ヶ嶽は航空管制施設の中に三角点がある。これを探したのだろうか、不法侵入した跡が各所にあった。林道から見晴らしの良い急坂を下り、地図にない山道を歩いて長等山。戻って長等山三角点を踏み、長等山テラスで大展望を堪能した。ここは眼下に琵琶湖を一望し、近くは千石岩の雄姿から比叡山までの景色が広がる絶好のビューポイント。街中からも近いので近所の人のお散歩コース終点にもなっているようだ。ヒヤリハットなし。 <報告：馬場重明></p>				

ジャンル 一般	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	北山・八丁平		
日時	2021年10月23日(土)	天気	晴一時しぐれ
リーダー	猪倉美佐子	サブリーダー	猪倉 清
<p><参加者> 8名(男性2名、女性6名) 猪倉 清、木地弘恵、久世谷登志子、田村太二、福田設子、吉谷由美子、吉田京子、猪倉美佐子</p>			
<p><コースタイム> 京都バス出町柳発 7:45—葛川中村 8:37—9:23 林道終わり二俣 9:38—沢から杉林の尾根へ 10:20—11:00 八丁平(昼食 11:35)—八丁平発 12:06—オグロ坂峠 12:20—江賀谷左岸尾根入口 12:46—P.940ブナ林 13:00—林道へ 15:40—15:55 葛川中村学校前—タクシー乗車 16:00</p>			
<p><リーダー報告> ヒヤリ・ハットはありません。</p> <p>*20年位前に江賀谷右俣を歩いた時は大岩の横に木橋がかかっていたが橋が流されてからは歩いていない。大雨が降った後は渡渉に苦労するとネットに出ていた。夜半に雨が降ったが、水量は少なくスムーズに渡渉できた。斜面の細いトラバース道は緩いロープがあるが足下注意。</p> <p>*中村乗越への杉林の途中から県境尾根に登り、そのまま八丁平へ降りた。広い歩き易い尾根で県境尾根をオグラ坂の方へも歩いてみたい</p> <p>*八丁平の紅葉には早かったが800mの高さにある、人けのない静かな湿原と森のたたずまいが心地よかった。</p> <p>*鎌倉山への途中から東に派生する江賀谷左岸尾根は広い尾根で分岐箇所が多く、絶えず方向をチェックしていないと間違い易い。時間に余裕があったので940mの北側のブナ林にも足をのばした。</p> <p>*林道への降り口らしき所に新しいトラロープがつけてあったがそこまでの足場が悪く滑るので細引きを出した。正しい降り口かは疑問です。</p> <p>*青空で昼食を食べていたら突然雨が……。が北山時雨はすぐ止んだ。900mの稜線上では木枯らし1号が吹き、寒かったが尾根の中腹からは日差しが暖かかった。枯葉の積もったクッションの良い下りで尻もちをついている人も見かけた。</p> <p style="text-align: right;">記入者:猪倉美佐子</p>			

<ジャンル> 岩登り	 山行報告 西山HC		
行き先	初歩から学び楽しむ 目俵・インドクライミング②①		
日 時	2021年10月23日(土)	天気	晴
C L	馬場重明	S L	旭 眞
≪参加者≫ 6人 (男性3人、女性3人) ※敬称略 旭眞、和泉奈緒美、北川真理、小原清志、馬場重明、峯尾靖子			
≪アクセス・コースタイム≫ JR吹田駅・阪急相川駅～吹田市目俵市民体育館 (9:00 集合) ～各自ストレッチ～9:20 開始～11:40 終了 (解散) ～JR吹田駅・阪急相川駅へ			
≪リーダー報告≫ <p>◆緊急事態宣言は解除されたが、ひきつづき感染防止対策のため、登降時以外のマスク着用、アルコールジェル等での手指消毒、安全確認の徹底などを打ち合わせた。目俵体育館の人数制限 (クライミングブースは9人) は10月いっぱい続けるとのこと。今回は山行が重なり参加者が少なかったため、人数を気にすることがなかった。いつもの親子連れも来なかったため、西山HCの貸し切り状態だった。</p> <p>◆まったくはじめての和泉さんが初挑戦。最初に、ストレッチの仕方、ハーネスの着け方、クライマーとビレイヤーの声かけ・安全確認、ハンギングポジションとロックポジション、はしごを登るように、右足でホールドに乗ったら右手のホールドを取る、左足でホールドに乗ったら左手のホールドを取るなどの登り方の基本の学習をして本番。1本目は普通の運動靴にもかかわらず、てっぺんまで完登した。すごい。これで力を使ってしまったのか、あとは苦戦していた。最初は誰でもそうだが、まだ足に乗ることが十分でないため腕の疲れが早い。経験を積むとコツを覚えて、だんだん楽に登れるようになります。</p> <p>◆みなさん、各自で設定した目標にむかって奮闘。年齢が年齢だから、大きく飛躍することはないが、毎回、ほんの少しずつながら上達していくのがうれしい。でも上達より、まずクライミングを楽しむことが目標。ムリなく末永く続けたい。ヒヤリハットなし。 <報告：馬場重明></p>			

ジャンル 一般	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	大比叡(比叡山山道)			
日時	2021年10月24日(日)	天気	晴れ	
リーダー	中村好夫	サブリーダー	池澤晶子 北川真理 深田雅子	
<p><参加者> 会員13名(男性3名、女性10名) 池澤晶子 北川真理 岸本貴美男 木下裕子 草場眞知子 小嶋乃婦絵 高田江理 中村好夫 西尾久枝 深田雅子 藤本真弓 山崎富美江 山本恵俊</p>				
<p><コースタイム> 四条河原町バス停(8:33発)⇒修学院離宮道(9:20着)～赤山禅院横の 児童公園(9:40、体操、9:50)～梅谷～水飲み対陣碑・東山トレイル合 流(10:40)～ケーブル比叡駅(11:45、昼食、12:15)～四明岳・ガーデ ンミュージアム(12:45)～大比叡(13:00)～延暦寺境内(13:25)～延 暦寺会館～本坂～日吉神社(15:00)解散</p>				
<p><リーダー報告></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 一気に秋を通り越し、肌寒い気候であったが天気は晴れであった。 2 リーダーの思い違いで、バスは一台遅れに乗ることになってしまった。 バスは大変混んでいた。「緊急事態宣言」解除の影響か? 3 赤山禅院から梅谷、水飲み対陣碑の山道は、ルートが短いことから下 山によく利用するが、今回は数年ぶりに登りに使った。 4 気候も良くなったこともあり、梅谷で2～3組、東山トレイルでは、多くの グループに出会った。 5 まだ10月という事で、ガーデンミュージアム横の展望台から御嶽山は 残念ながら見えなかった。しかし、琵琶湖をはじめ、北山や湖国の山々 の展望が楽しめた。 6 延暦寺では、秋の特別拝観がされ、参拝客も多かった。根本中堂は改 修中であったが、拝観はできるとのこと。 7 本坂の下ったところの道の両脇の木々が、色付き始めていた。日吉神 社では11月から紅葉鑑賞が始まるとのこと。 8 坂本ケーブルで、1名下山した。案内にもある通り、下山時の調子を見 てケーブル使用も可としている。 9 ヒヤリハットなし。 <p style="text-align: right;">記入者:中村好夫</p>				

ジャンル ビスターリ	山 行 報 告			西山ハイキングクラブ
行き先	愛宕山(ケーブル山頂駅)			
日 時	2021年10月27日(水)	天 気	晴れ	
リーダー	木地 弘恵	サブリーダー	福田 設子	
<p><参加者> 会員 12名、(男性4名、女性8名) 井上美智子、片山富子、上脇和子、岸本美貴男、北村初恵、木地弘恵、鈴木洋一、永田芳江、福田設子、安井昇太、山口礼子、山本恵俊</p>				
<p><コースタイム> 清滝 8:00～落合 8:35～荒神峠 10:00～大岩 10:30～水尾分かれ 11:45～ケーブル山頂駅 12:00～愛宕スカイライン 13:05～大杉谷 13:30～東海自然歩道 14:52～清滝 15:20 解散</p>				
<p><リーダー報告></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中止にした例会をようやく実施できた。 2 清滝から川沿いを歩いて落合に行く道や荒神峠から大岩、そこから水尾分かれに向かう[中の道]知らない人がいたので嬉しい(前回の例会では下りに使った)。 3 大岩から水尾分かれまで急登をゆっくり歩いたつもりだったが、1班体制が保てず、SLが臨機応変に参加者にも協力してもらい、2班体制にして対応した。12人で1班体制では後ろの声が聞こえないので無理があったと反省。何か言っているな?と思ったら周りの人に聞くなり、ちゃんと内容を聞くようにするべきだった。(休憩して、の声を聞き逃した) 4 水尾分かれに着いた時、昼前でメンバーに疲れが見えたが、山頂駅に行く道が平坦な道もあるのを思い出し、平行移動で行ける、と声掛けして向かった。 5 山頂駅の広場で昼食後、山頂駅周辺の施設跡を巡った。 6 愛宕スカイラインも皆さん初めての道でスカイラインの名の通り、アップダウンが少なく快適な道で好評だった。 7 大杉谷ではマムシに2回遭遇した。1匹は蝮局を巻いて、しっぽの先をガラガラヘビのように細かく震わせているのを発見した。 8 長い登りと急登だったので時間がかかり、バテ気味になったので愛宕ではビスターリというジャンルは無理があるかも?と感じた。 9 ヒヤリ・ハットなし。 				
記入者:木地弘恵				

ジャンル 一般	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	御坂山塊・王岳			
日時	10月27日-28日	天気	2日間とも晴れ	
リーダー	依田敏夫	サブリーダー	村田君代	
<p><参加者> 旭眞、池澤晶子、鹿島和子、田中義子、西尾久枝、林導、村田君代、山下美喜子、依田敏夫（男性3、女性6、計9名）</p>				
<p><コースタイム></p> <p>10月27日（水）：京都発8：10のこだま号に乗車して新富士で下車。タクシーで鳴沢氷穴まで移動。11：50着。昼食後鳴沢氷穴を見学。 歩行：鳴沢氷穴12：45 → 紅葉台13：10 → 三湖台14：05 → 西湖登山口14：45 → 宿泊先（民宿「ひがしむら」）15：50</p> <p>10月28日（木）：宿泊先7：00 → 登山口7：40 → 9：10 鍵掛峠9：20 → 鍵掛9：50 → 11：10 王岳12：00 → 登山口13：10 → 根場いやしの里駐車場13：55 14：40 タクシーで富士宮駅まで移動。15：35着 富士宮から身延線特急、新幹線を乗り継いで京都18：37着</p>				
<p><リーダー報告></p> <ul style="list-style-type: none"> •今年はこの時期としては富士山の積雪が多く、好天にも恵まれて2日間とも雪をかぶった富士山を見ることができました。 •紅葉台・三湖台あたりは歩きやすいところで、展望を楽しみながらのんびり歩けますが、三湖台から西湖登山口まではやや急な下りです。 •根場駐車場から鍵掛峠までの登りはYAMAPのコースタイム通りに歩きました。ここから王岳までの稜線は、小刻みなアップダウンの繰り返しと歩きにくいところもあって、想定していたよりも時間がかかりました。ただ、富士山を見ながらの歩行は爽快です。また王岳山頂では、富士山を眺めながら昼食を摂り、ゆっくり休憩して心ゆくまで楽しみました。 •王岳からの下りは、出だしは笹の原の急な下りを注意して歩く必要があります。登山口までは1時間ほどで歩けますが、そこから根場駐車場までは石がゴロゴロしている林道を歩きます。逆コースにしてこちらから登る周回コースも考えていましたが、どちらでもあまり変わらない感じです。 •ヒヤリハットはなし。 <p style="text-align: right;">記入者：依田敏夫</p>				

<ジャンル> 健脚	 山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	大杉谷		
日時	2021年10月29日(金)～30日(土)	天気	晴れ～曇り
CL	馬場重明	SL	島田江里子、永本芳江
≪参加者≫ 8人(男性2、女性6) ※敬称略 井上美智子、加藤ゆり、島田江里子、谷口信子、永本芳江、 馬場重明、福田設子、前原利生			
≪アクセス・コースタイム≫ [第一日目] 10月29日(金) 晴れ 京都 6:43→<近鉄京都線急行>→7:44 大和八木 7:48→<近鉄大阪線急行>→ 9:12 松阪 9:24→<JR 紀勢本線>→9:35 多気 9:43→→10:14 三瀬谷 10:20→< ジャンボタクシー>→11:20 大杉峡谷登山口(昼食) 11:45 発～11:52 宮川第3 発電所(トイレ・ストレッチ) 12:00 発～12:15 大日岨吊橋～12:27(休憩5分) ～12:33 能谷吊橋～13:05 京良谷(きょうらだに 休憩7分)～13:33 日浦杉吊 橋～13:53 千尋滝・休憩所(せんびろだき 休憩25分) 14:10 発～14:38(休憩 5分)～15:05 シシ澗(休憩10分)～15:30 ニコニコ滝(休憩5分)～15:47 平 等岨吊橋～16:02(休憩5分)～16:15 加茂助吊橋～16:35 桃の木山の家(泊) [第二日目] 10月30日(土) 晴れ～曇り 桃の木山の家 6:30 発～7:00 七ツ釜滝・休憩所(休憩10分)～7:25 七ツ釜滝吊 橋～7:40(休憩5分)～8:10 崩壊地(休憩5分)～8:20 光滝～8:35 隠滝～8:55 与八郎滝の先(休憩5分)～9:10 堂倉吊橋～9:15 堂倉滝(休憩10分)～9:55 (休憩10分)～10:45 堂倉小屋(昼食30分) 11:15～11:36 粟谷小屋との分岐 ～11:45 シャクナゲ坂(休憩5分)～12:20(休憩10分)～12:45 シャクナゲ平 ～12:55(休憩5分)～13:38 日出ヶ岳(休憩22分) 14:00 発～14:45 大台ヶ原 バス停(解散) 15:20→<奈良交通臨時バス>→17:00 大和上市 17:11→<近鉄 吉野線急行>→18:00 橿原神宮前(夕食) 19:11→<近鉄急行>→20:17 京都着			
≪リーダー報告≫ ◆近鉄、JRと何本もの電車を乗り継いで3時間半で三瀬谷駅。ここからジャンボタクシーで崖沿いの細い山道を辿って約1時間、やっと登山口に着いた。覚悟していたがとにかく遠い。 ◆秋晴れの中、岩壁をくりぬいてつくられた峡谷沿いの道を慎重に登る。行く手には次々と、大日岨や平等岨などの巨大な岩壁が現れる。岨とは岩の古語で切り立った崖の意味だそうだ。落差135mもある巨滝・千尋			

滝（せんびろだき）やニコニコ滝などの見事な滝、長短の吊り橋、シシ
瀨などエメラルドグリーンの淵があらわれ、楽しませてくれる。

◆随所にクサリがつけられている。こういうところは転倒即滑落で重大
事故につながる危険がある。みなさんにはうるさいほど「クサリをつか
んで」と呼びかけた。道はスリリングなうえ激しいアップダウンの連続。
岩壁から雨のように湧水が降り注ぐところや濡れた岩場、ルートがわか
りにくいところなどもあり気が抜けない。何よりも陽が短くなっている
秋の山行だから、あまりのんびりしていると最後はヘッデンで小屋にた
どり着くことになる。幸い足が揃い、陽の落ちる前に宿舎に到着できた。
◆桃ノ木小屋は追加料金を払って個室を2部屋押さえたので比較的ゆっ
たりと休むことができた。また、汗を流すだけだが「檜風呂」もあり快
適。しかし寒かった。

◆二日目も、七ツ釜滝、光滝、隠滝、与八郎滝などを巡って登る。圧巻
は堂倉滝。落差はないが幅広の滝で水量に圧倒される。絶好のスポット。
また2004年の台風で山肌が崩れ巨岩がごろごろしている「崩壊地」とい
う「新名所」や、その季節に訪れたら見事な群生が見られそうな、シャ
クナゲ坂、シャクナゲ平を歩いた。百名山・大台ヶ原山（日出ヶ岳 1695
m）頂上は、クラブツーリズムの団体登山者などたくさんの人で賑わっ
ていた。下山し、大台ヶ原バス停で解散後、バス待ち時間に紅茶を沸か
してお互いの健闘を称えあった。

◆30年近く前に、友人と3人で歩いた時は、雨の中を大台ヶ原から下
った。今回あらためて歩いてみて、こんなところを雨の中、下ったのか
と考えると、その無謀さに背筋が寒くなる。若かったからできたのかも
しれない。その時は雨でほとんど何も見えなかったが、今回は楽しくリ
ベンジできた。ヒヤリハットなし。 <報告：馬場重明>

（報告：会計担当 島田江里子・加藤ゆり）

	内 容	金額
収入	徴収会費@13100×8（近鉄・JR・バスは各自）	104800
支出	交通費（ジャンボタクシー 三瀬谷駅～登山口）	19000
	宿泊費 10/29（桃ノ木小屋一泊三食）@10000×8	80000
	宿泊費 10/29（桃ノ木小屋個室料2部屋）	5000
	通信費・事務費	800
	支出計	104800

ジャンル テント・小屋	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	愛宕龍の小屋・テント泊と竜ヶ岳			
日時	2021年10月29-30日	天気	2日間とも晴れ	
リーダー	中村好夫	サブリーダー	安達正明 木地弘恵	
<p><参加者> 会員9名(男性4名、女性5名) (小屋組) 安達正明 木下敦子 小西弥生 中村好夫 深田雅子 安井芳男 山田博子 横井重信 (テント組) 木地弘恵</p>				
<p><コースタイム> 29日(金) 阪急嵐山駅・京都バス(12:14)⇒清滝(12:35,体操,13:00)～月輪寺登山口～梨木大神～雲心寺林道～首無地蔵～龍の小屋(16:00)小屋・テントで宿泊 30日(土) 龍の小屋(7:15)～竜ヶ岳(8:30)～龍の小屋(9:30,荷物整理,10:10)～往路を下山～清滝(13:15)解散</p>				
<p><リーダー報告></p> <ol style="list-style-type: none"> 2日間とも天気よく、紅葉が始まった秋の山歩きを楽しんだ。 みなさん、食材や宿泊装備など大きな荷物を担いで頑張った。 コロナ禍が落ち着いたので、小屋前で味噌鍋に舌鼓をうった。 梨木林道から首無地蔵の間は、台風で倒木が折り重なっていたが、見違えるほど整備されていた。「梨木大神」から雲心寺林道への以前の山道は、台風の影響で廃道になったようで、新しいジグザグ道が付けられていた。ただ、とりつき点が急坂であったため、下山時にはロープを出した。事故を未然に防ぐためにも、危険個所では積極的にロープやシュリング等で補助を出すべきと再認識した。 小屋は以前に比べ整備されていて、小屋組はゆっくりと寝る場所を確保した。テントは一張であったが、快適に過ごせたとのこと。山行領域を広げるために、避難小屋などを利用する場合のトレーニングにもなったのではないかと。 竜ヶ岳へは、急登であえぎあえぎ頂上に着いた。 ヒヤリハットなし。 参加費は小屋組みの宿泊費500円。食費は差入れなどあり格安で、梅酒の差入れもあった。感謝々々。 <p style="text-align: right;">記入者:中村好夫</p>				

ジャンル 一般	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	扶桑尾根～天ヶ岳		
日時	2021年10月30日(土)	天気	晴
リーダー	猪倉美佐子	サブリーダー	猪倉 清
<p><参加者> 10名(男性4名、女性6名) 猪倉 清、和泉奈緒美、岸本貴美男、草場真知子、公森満子、田村太二、永田芳江、林謙佐郎、山下美喜子、猪倉美佐子</p>			
<p><コースタイム> 京都バス出町柳発 7:50—扶桑橋着 8:38—尾根取付き 8:55—9:52・P.655 10:00—10:25 小休止 10:30—P.723・10:52—11:00 鉄塔 11:05—百井峠 11:10—P.800 昼食(11:35～12:05)—P.835 12:13—車道 12:25—12:28 電波塔跡 12:35—(13:30 頃足つり)—13:42 百井峠 13:48—鉄塔 14:07—14:17 天ヶ岳 14:30—(14:45 頃転倒)—15:40 戸谷峰 15:50—薬王坂 16:44—鞍馬—京都バス乗車 17:04—国際会館 17:35</p>			
<p><リーダー報告></p> <p>* 北山分水嶺地図に破線がある扶桑橋から百井峠に伸びる扶桑尾根(百井谷右岸尾根)を歩いてみたくて例会に組んだ。 取付は少し急だが後は緩やかな自然林の道で倒木もなく歩き易かった</p> <p>* 電波塔跡は更地になっていた。天気が良かったので展望が開け北山比良の山並みが一望できた。</p> <p>* 今年は紅葉が遅れているそうだが、所々綺麗に色づいていた。</p> <p>* 百井峠への下山途中でAさんに足つり発生、芍薬甘草服用し両内股に湿布を貼った。休憩後10分程して2度目が発生したのでBさんがリュックを2つ背負って15分後に百井峠着。Aさんは百井別れからのバス乗車を希望された。4時10分に帰宅した旨、連絡をいただいた。</p> <p>ヒヤリハット</p> <p>天ヶ岳から15分ほど下った緩やかな尾根で段差の木の根につまずいてCさんが転倒、受身の態勢でリュック側面から地面に倒れた。(以上は先頭のSLが振り向いて目撃した様子。) すり傷は見当たらず一応右手甲に湿布を貼りDさんが右頬に湿布を貼ったが帰路本人がはがされた翌日、右手と頬は問題なく、腰に少し痛みがある程度だが、リュックの中のテルモスが凹んでいたとの事でした。 記入者:猪倉美佐子</p>			

ジャンル	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	永観堂・南禅寺～疎水散歩道を歩く		
日時	2021年 11月 1 日(月)	天気	晴れ
リーダー	持永由紀子	サブリーダー	山岳邦枝
<p><参加者>男性 2名 女性 10名 計12名 安達千代子、植村節子、小林富子、鈴木洋一、竹部瑩、中村あさ子 西千恵子、持永由紀子、山川千津子、山岳邦枝、山下美喜子、和田喜美子</p>			
<p><コースタイム> 阪急四条河原町8:45⇒市バス乗車8:55・・・永観堂(9:20～10:30) ・・・南禅寺三門10:40・・・庭散策休憩11:00・・・水路閣11:15・・・疎水 べりの道11:20・・・ねじりマンボ11:37・・・地下鉄蹴上駅解散11:45</p>			
<p><リーダー報告> ☆紅葉の時期には少し早いため、人が少なくてゆっくり拝観が出来た。 拝観料は600円だったが、9日からは1000円になるということだった。 ☆葉先が3つに分かれている、珍しい三針の松を売店で頂いた。 持っているといふ福が授かるとのこと。 ☆庭の紅葉は少し早かったが、放生池の紅葉は素晴らしかった。 ☆南禅寺三門からは天気も良かったので西山まできれいに見えた。 ☆琵琶湖疎水の父とよばれる田邊朔郎さんの設計のおかげで、岡崎一帯 が一大工業エリアにならず、風致地区として保存されたとか。 素晴らしい功績をを残された朔郎さんの銅像を「ハンサムやなあ」「若いな あ」と眺めてから、「ねじりまんぼ」を通り解散した ☆気候もよく天気もよく、のんびり古都散歩ができて良かった。</p>			
ヒヤリハットなし		記入者：持永由紀子	

ジャンル 超楽	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	嵯峨野散策		
日時	2021年11月2日(火)	天気	晴れ
リーダー	山下美喜子	サブリーダー	山下光子
<p><参加者> 女性11名 植村節子 北村初恵 木下敦子 桐村弘子 久貝浩子 小林富子 田口博子 森淑子 森川康子 山下美喜子 山下光子</p>			
<p><コースタイム> 阪急嵐山駅京都バス乗り場10:14～大覚寺10:30・自己紹介・コース説明・体操 出発～北嵯峨～児神社11:00～遍照寺11:30お話・見学～広沢の池12:30 解散</p>			
<p><リーダー報告> A 天気の良い日 皆さん、元気に集合された。大覚寺前で自己紹介・コース説明・体操をする。</p> <p>B 北嵯峨高校の前を通り、児神社に向かう。広々とした田園ののどかな雰囲気、遠くに見える山並みを楽しみながら歩く。広沢池の西隣にある児神社に参詣し、広沢池の祠に拝む。池には、サギやカモなどなどいて、3, 4人のカメラマンが鳥を待っていた。周りのススキ、紅葉が美しかった。</p> <p>C 遍照寺では、住職さんに 由緒ある寺の歴史や 重要文化財の仏像、屏風 などの話をしていただき、実物を間近にみせていただいた。庭は石と緑が美しく綺麗に掃除されていた。少し前は、庭一面のコスモスで来訪者が多かったとのこと。この寺に縁のある山下光子さんのおかげでした。</p> <p>D 解散して希望者で 澤乃家で食事をする。帰り道はバスに乗る人2名、嵐山駅まで歩く人9名であった。</p> <p>E ヒヤリハットなし</p>			
		記	山下美喜子

ジャンル 健脚	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	35周年記念山行 川久保尾根から天王山		
日時	2021年11月2日(火)	天気	快晴
リーダー	林ただし	サブリーダー	村田君代 和泉奈緒美
<p><参加者> 7名 (男性 2名 女性 5名) 和泉奈緒美 小西弥生 林ただし 林導 福田設子 村田君代 山崎富美江</p>			
<p><コースタイム> JR 高槻駅南口バス停集合7:15→川久保行き乗車7:24→川久保バス 停着7:58 ストレッチ→川久保バス停から一部分川久保尾根の東側に ある支尾根を登る(道なき尾根)8:30→P534 10:16→大杉 11:05 昼食 11:40 発→大沢展望台 11:50→京青の森 12:20→展望台 12:45→木漏れ 日広場 13:25→柳谷第二駐車場→西山古道→府道 33 号にでる→十三 仏(道なき道尾根)14:10→小倉神社分岐 14:55→天王山 15:30→旗立松 15:45→JR 山崎駅 16:00 解散</p>			
<p><リーダー報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 5月21日に雨天予報の為中止になった、35周年の記念山行です。 ○ 川久保尾根の中間部で倒木処理のため重機が作業をするため通行禁止になっている(3月はじめまで)。そのため川久保尾根の東側の支尾根を登りました。 ○ 道なき尾根を探しながら倒木を跨いだりくぐったりの連続です。コース選びを間違うと、誰もついてこないと言われ、CLからのコース説明のあと、慎重に登り口を探しました。 ○ 道なき道も、まわりを見ることに慣れ、行先を見定め進むことができました。尾根筋から一般道に出たときは感動ものでした。 ○ 大杉からは、ところどころ色ついた山並みや、展望台からの景色もゆっくり楽しみました。 ○ 最後のアクセントに十三仏からの道なき道を少しだけ登り、健脚の足並みで、天王山、旗立松とスピードよく下山し、解散となりました。 ○ ヒヤリハットはありません。 <p style="text-align: right;">記入者 和泉奈緒美 (報告 林ただし)</p>			

<ジャンル> ビスターリ	 山行報告 西山H C		
行き先	干支の山 牛松山		
日 時	2021年11月3日(水・休)	天 気	晴
C L	馬場重明	S L	高田千代、谷口信子
≪参加者≫ 10人(男性2人、女性8人) 北村初恵、木下裕子、久保まさ子、島田江里子、新谷純子、高田江理、 高田千代、谷口信子、馬場重明、安井昇太 ※敬称略			
≪アクセス・コースタイム≫ JR亀岡駅改札口(8:50集合) / 北口バス停8:55→<亀岡市ふるさとバス>→ 9:03 国分バス停(ストレッチ) 9:18 発～9:26 愛宕神社～9:33 牛松山ハイキン グコース入口～9:45(休憩5分)～10:00 P350・第1ベンチ～10:12 第2ベンチ ～10:17 尾根の分岐(休憩5分)～10:44 亀岡TV中継所～10:50 牛松山三角点 (629・2m)～10:56 牛松山頂上(636m 休憩5分)～金比羅神社～11:20 上の 展望台(昼食) 11:50 発～12:07 下の展望台～12:20 五丁(休憩5分)～12:40 福 性寺ゲート～12:50 北保津バス停(解散)～13:15 亀岡駅→各駅へ			
≪リーダー報告≫ ◆もう終わりかけだが、今年の干支(丑年)にちなんだ山を、年男がコ ロナ禍収束を祈念して登れば、ちょっとはご利益があるかもしれないと 計画した。比較的新しい会員さんが多かったが、ストレッチ時の自己紹 介で、みなさんが自分の干支をカミングアウトしたので恐縮した。 ◆このコースは、ポンポン山と同じくらいの標高差(約500m)を短時間 で登るので最初がしんどい。ルートに制約がなければ、「登りはキツイ道、 下りは緩やかな道」で登るのがセオリー。行動時間的には「らくらく」 だが、「ビスターリ」で設定した。SLデビューの高田千さんを先頭にゆ っくりゆっくり登ってもらった。時折色づいた樹々があるが紅葉はまだ まだ。風は秋の風だが、日差しは夏の名残が感じられる。しかし、急登 でもゆっくり登れば、それほど汗もかかない。登山に良い季節になった。 ◆頂上には「この看板を写真に収め、観光案内所で示せば牛松山登山証 明書がもらえる」との看板があった。下山後、有志でJR亀岡駅2階の 案内所を訪ね、証明書をいただいた。写真はいらなかった。 ◆出発時、バス停から歩いてすぐのところまで女性一人が体調不良のため リタイアしたのは残念だった。無事帰宅を確認した。ヒヤリハットなし。 <報告:馬場重明>			

ジャンル 一般	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	白滝山			
日時	2021年11月3日(水)	天気	晴	
リーダー	猪倉美佐子	サブリーダー	猪倉 清	
<p><参加者> 8名(男性2名、女性6名) 猪倉 清、太田純江、片山富子、木地弘恵、永田芳江、野村輝行 深田雅子、猪倉美佐子</p>				
<p><コースタイム> 京都バス出町柳発 7:45—坊村着 8:41—地主神社 9:02 —尾根取付 9:37—北山 10:24—オトワ池(昼食 11:30~12:03)—(足攣り 12:15)—鉄塔ピーク 12:42—12:47 長池 12:57—オトワ池 13:17—13:30 白滝山 13:35—ワサビ天井滝 14:38—ワサビ大滝 14:50—伊藤新道入口 15:30—坊村着タクシー乗車 16:15—JR 堅田駅解散</p>				
<p><リーダー報告> ヒヤリハットはありません。</p> <p>* 坊村から P.695 北山を通してオトワ池に出る尾根を歩いてみたかったので6月に、計画したが雨のため中止になった。その時はモリアオガエルの産卵風景が目的だったが、今回のリベンジでは特に長池周辺の素晴らしい紅葉に出会うことが出来た。</p> <p>* 白滝山の頂上辺りは葉が落ちている木が多かったが色とりどりの中腹の紅葉が見頃だった。</p> <p>* 北山の尾根は急登もあったが、思っていたよりも歩かれている様だった</p> <p>* 昼食後、池めぐりに歩きだして10分程してAさんに足攣り発生。 芍薬甘草を飲まれ湿布を貼った。ホカロンも使用し、しばらくしておさまったのでゆっくり池を巡ったが又攣ったので休憩後、白滝山の頂上まで30分程B氏がリュックを2つ背負った。 Aさんは白滝山からの下りでは、全く問題なく足場の悪い沢筋の道をバランスよく元気に下られていた。</p> <p>* 伊藤新道の急な所にはロープがついていた。ワサビ大滝辺りから谷筋の木の枝が揺れ猿の群れが我々に向けて威嚇の声をあげていた</p> <p>* 土曜の好天、紅葉の最盛期だったが若い3人組の女性とすれ違っただけの静かな比良を歩けた。</p> <p style="text-align: right;">記入者:猪倉美佐子</p>				

ジャンル 健脚	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	コヤマノダケ・武奈ヶ岳		
日時	2021年11月3日(水・祝)	天気	晴れ
リーダー	久世谷 登志子	サブリーダー	吉谷由美子
<p><参加者> 池澤晶子・久世谷登志子・日野加代子・吉谷由美子・吉田京子 女性5人 計5人</p>			
<p><コースタイム> JR近江舞子 7:50(タクシー)イン谷口 8:15~9:05 青ガレ~10:00 金糞峠 ~11:35 コヤマノダケ(昼食) 12:00~12:30 武奈ヶ岳 12:40~13:45 八雲ヶ原 13:55~14:15 北比良峠~15:10 カモシカ台~15:40 大山口~16:05 イン谷口(タクシー) 16:35JR比良駅(解散) 16:38 発</p>			
<p><リーダー報告> (皆に知ってもらいたい事・改善点・ヒヤリハット・感想等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SLの鹿島さんが怪我のため欠席となり、吉谷さんをお願いした。ありがとうございました。久しぶりにこじんまりとした5名の山行となった。 ・うっかりして比良駅を乗り過ごしてしまい、次駅の近江舞子まで乗ってしまい、予約のタクシーに回してもらって、約15分のロスとなってしまった。イン谷口で「登山届を提出しましょう」と災害対策キャンペーンをしておられ、「アルミシートとホイッスル」を貰った。 ・金糞峠からヨキトウゲ谷沿いを歩き、途中からコヤマノダケへ直登は、やはり厳しい。武奈ヶ岳では、沢山の人で賑わっており嬉しく感じた。また、上から見るとコヤマノダケは殆ど葉が落ちていたが、それも面白く、西南陵は色彩豊かで綺麗だった。 ・帰りは4時のバスには間に合わず、次の40分までは時間がありすぎるので、タクシーを呼ぶことにした。丁度5人乗りを調達してもらえて安くなり、またJRが遅れていて、すぐに乗れて早く帰れたことはラッキーだった。山科駅で白滝山グループに出会った。 <p>★ヒヤリハットなし</p> <p style="text-align: right;">報告者:久世谷登志子</p>			

ジャンル らくらく	山 行 報 告			西山ハイキングクラブ
行き先	天王山(小倉神社・桜の広場公園各コース)			
日 時	2021年 11月 4日、11日、18日(木)	天 気	晴れ	
リーダー	吉田京子 吉谷由美子 能登恵美子	サブリーダー	各受付、下山担当	
<p><参加者></p> <p>会員 8名、(男性3名、女性 5名)(敬称略)</p> <p>五十棲節子、桑原長治、田中義子、中村好夫、 能登恵美子、則包公子 林謙三郎、吉田京子</p> <p>11月4日4名、11日3名、18日7名</p>				
<p><コースタイム></p> <p>桜の広場公園コース(山頂往復)往復約 1 時間</p>				
<p><リーダー報告></p> <p>○ 天トレ案内提出する時点で、小倉神社からの登山が禁止になっていた 為に、木曜日のみとしましたが、個人的に皆さん入山禁止解除後 火曜日にもトレーニングされていたようで、臨機応変に対応なくて申 し訳なかったです。</p> <p>○ 来期 12 月から吉谷由美子さん山行部長に専念する為に、天トレC Lから退かれ吉田京子、能登恵美子の 2 名で担当する事になりました。 今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>○ 来月 12 月からは火曜日、木曜日週 2 回実施していきます、本格的 に励んでいきましょう。</p> <p>○ 18 日天王山頂上の紅葉は美しく紅葉してました。</p> <p>○ 桜の広場公園からの登山口右手に皇帝ダリア十本が朝日を浴び、 美しく並んで 咲いていた。</p> <p>○ ヒヤリハット無し</p> <p style="text-align: right;">記入者:能登恵美子</p>				

ジャンル 教育部	山 行 報 告 西山ハイキングクラブ		
行き先	読図・瓢箪崩山③ <教育部 35 周年記念山行>		
日時	2021 年 11 月 6(土)	天 気	晴れ
リーダー	池澤晶子	サブリーダー	馬場重明
<p><参加者> 6 名 (男性 1 名 女性 5 名) 池澤晶子 和泉奈緒美 北村初恵 五島ちまり 馬場重明 福田設子</p>			
<p><コースタイム> 国際会館駅前京都バス 8:40 発→花尻橋 9:00 着・9:25 出発～林道ゲート 9:45～寒谷峠 11:20～瓢箪崩山 11:40 着(昼食)12:20 出～P436 13:35 ～三宅八幡宮 15:40 着(解散)</p>			
<p><リーダー報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ○花尻橋バス停で体操後、読図の手順を説明した。 ○課題①～⑤を順番に担当し、地形図の見方や地形図より先読みの大切さを学んでもらう。 ○担当者は先頭を歩き地図上の番号を特定し問いを答えてもらい、その後 CL、SLが補足説明する。 ○コンパスの使い方は、これまでの読図山行で学ばれていたが、確認のため、再度みんなで学び合い出発した。 ○地形図の等高線は 10m 間隔で引かれている。歩いてみると 10m 以内に鞍部があることがあり、それは地図上では表されていない。地形図で読み取れないこともあると感じてもらった。 ○問いの中で番号が示した場所が特定できず、通りすぎてしまった。地図上では道があるが、廃道になっていたり、テープに惑わされたりする。地形を見渡し、見極め断定する難しさを実感した。 ○馬場さんの分かり易い説明を受け、納得することや学びが多くあり、ありがたかった。今回の読図で地図の見方が良く理解できたとの声も聞かれ、みんなで学び合えて良かった。 ○ヒヤリハットなし。 <p style="text-align: right;">記入者:池澤晶子</p>			

ジャンル 一般	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	美作アルプス・後山(1344. 56m)		
日時	2021年11月6日(土)	天気	晴れ
リーダー	草場 眞知子	サブリーダー	永田 芳江
<p><参加者> 会員9名(男性1名、女性8名) 五十棲節子 上林啓子 岡庭美恵子 木下敦子 草場眞知子 永田芳江 長濱定子 林謙佐郎 深田雅子</p>			
<p>《アクセス・コースタイム》 京都駅・特急はくと1号 7:06—智頭線・大原駅 9:25—ジャンボタクシー 10:00 駒の尾登山口 10:09—駒の尾山 11:13—避難小屋 11:27—鍋ヶ谷山(昼食)11:47—12:26 船木山 12:58—後山 13:37—船木山 14:18—船木山登山口 16:03—智頭線・大原駅 16:40(解散)—スーパーいなば8号 17:08 —長岡京 19:49</p>			
<p><リーダー報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数年前の特別山行で断念した岡山県の後山に日帰りで行けることが分かり、紅葉の時期を狙って計画した。 ・駒の尾登山口から岡山最高峰後山まではなだらかな尾根が続き、標高差は400メートルほど。幾重にも連なる中国地方の山々を望みながら錦秋の一日を存分に楽しむことができた。 ・後山まで歩みを進め、船木山まで戻って急登を下った。 この谷筋の紅葉は尾根の紅葉の何倍も美しく、緑色の木々に交じって紅葉のグラデーションが素晴らしかった。足元に気を付けながら紅葉も愛でながらの下山となった。 予定よりも下山に時間がかかったが余裕をもってジャンボタクシーの迎えを頼んでいたの、焦ることなく船木山登山口に下山できた。 ・私たちが下車した大原の出身、Nさんはこの例会を特別の思いで参加していただいたようで、故郷の山に登れたことを大変喜んでおられた。 ・この山域へは日帰りで行けることが分かり、日の長い季節に計画すれば 違う山へも登れると思う。 高い交通費を使って行った甲斐があった。 ・ヒヤリハット無し。 <p style="text-align: right;">《記入者 草場眞知子》</p>			

ジャンル 健脚	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	裏六甲地獄谷			
日時	2021年11月6日(土)	天気	晴れ	
CL	田村太二	SL	旭真	
<p><参加者>男性3名 女性3名 計6名 旭真・操谷俊之・田村太二・永本芳江・横山共栄・吉谷由美子</p>				
<p><コースタイム> (神鉄有馬線)大池 9:15~9:40 登山口 9:50~10:00 西尾根分岐~ 11:40 ノースロード分岐~11:45 シュラインロード分岐~ 11:50 前ヶ辻 12:00~12:30 アイスロード谷間(昼食) 13:00~ 13:40 車道入口 13:50~14:30 六甲ケーブル下(解散)</p>				
<p><リーダー報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 晴天がしばらく続いていたので、溪流の増水もなく、渡渉に影響は出そうもないので、安心して例会を催すことが出来た。 ● 以前歩いた時は、渓谷添いの石の上を中心に歩いたが、今回は、あいまいな道を避けて、はっきりとした滝の巻き道を通ったので、難路にはぶつからなかった。ただ、滝を真下から見上げるシーンを欠いたことが、残念だった。 ● 紅葉は、多分このくらいがピークかと思うが、分からない。 ● 地獄谷の途中、前を歩いていた一団に追いついた。15人位おられただろうか、年齢的にはどっこいどっこいに思われた。やはり女性が主体で男性は2人位だったように思う。なるべく追い越さないようにと思って歩いたが、休憩に入ったので、やむなく追い越した。結局、ケーブル下のバスの乗車まで一緒になった。 ● 雑談で、私のリーダーとしての歩きが早いという人が多いという。今回は、前に集団がいたから遅くしたのだろうと、冗談ぽくいう人もいたが、いつも自覚では、コースタイムで歩いていると思う。それから、「健脚」と唱っているのだから、それなりの心構えで臨んで欲しいとも思っている。 ● ヒヤリハット無し <p style="text-align: right;">記入者：田村太二</p>				

ジャンル らくらく	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	柳谷参詣道近道(35周年記念山行)		
日時	2021年11月7日(日)	天気	晴れ
リーダー	中村 好夫	サブリーダー	木下 敦子
<p><参加者> 会員10名(男性4名、女性6名) 木下敦子 木下裕子 小西弥生 高田江理 中村好夫 西尾久枝 林謙佐郎 藤本真弓 安井昇太 山本恵俊</p>			
<p><コースタイム> JR山崎駅(9:00)～宝寺(体操、9:40)～青木葉谷展望広場(10:05)～ 十七烈士の墓(10:30)～天王山山頂(10:45)～小倉神社分岐(11:15)～ 柳谷参詣道と土御門陵への分岐～柳谷参詣道・十三佛(11:55)～ 柳谷観音(12:15、昼食、13:00)～西山古道道標⑫(13:15)～西山古 道道標⑬(13:25)～十人橋(13:50)～立石橋(14:00)～西代里山公 園(14:15)解散</p>			
<p><リーダー報告></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1週間前の天気予報は雨予報であったが、後ろにずれて晴れの天気となった。 2 「35周年記念山行」として過去に2度計画したが、1度目は雨で、2度目は天王山の通行禁止のため延期し、今回の実施となった。「3度目の正直」か？ 3 本来のコースは、小倉神社分岐から浄土谷へ出るのだが、浄土谷の手前付近の道が、大きくえぐれていて危険なので、小倉神社分岐からすぐの柳谷参詣道と土御門陵への分岐を歩くことにした。この道はしっかりと歩きやすい道であった。 4 柳谷観音は「もみじウィーク」前で参拝客は少なかった。手水洗には、カボチャが入っていた。 5 少し紅葉していたが、本格的な紅葉は後一週間程度必要かと感じた。 6 西山古道は、よく整備されていた。 7 西代里山公園は、多くの家族連れで賑わっていた。 8 旗立松では、大山崎町ふるさとガイドの会のみなさんがガイドをされていた。私たちがガイドをお願いした。 9 ヒヤリハットなし。 <p style="text-align: right;">記入者:中村好夫</p>			

ジャンル ビスターリ	山 行 報 告			西山ハイキングクラブ
行き先	千頭岳・音羽山			
日 時	2021年11月7日(日)	天 気	晴れ	
リーダー	山下美喜子	サブリーダー	安井芳男	
<p><参加者> 男性2名 女性6名 計8名 片山富子 公森満子 谷口信子 夏原典子 林導 福田設子 安井芳男 山下美喜子</p>				
<p><コースタイム> 石山駅バス8:30～幻住庵9:00～登山口10:00～分岐10:40 東千頭岳11:20～西千頭岳11:45昼食12:20発～分岐13:10～ 音羽山14:00～蟬丸神社15:30 解散 ～京阪大谷駅～山科駅</p>				
<p><リーダー報告> *直近の天気予報から、晴れ模様に転じて皆さんの願いが叶い、素晴らしい遠望が効く秋晴れが広がりました。</p> <p>*紅葉には少し手前でしたが、秋も深まり名勝の芭蕉の幻住庵に近い登山口から音羽山へ下山するコースを選びました。</p> <p>*分岐から東千頭岳までの尾根筋は両脇が雑木林トンネルを堪能できます。今回は尾根筋～東・西千頭岳のルートを往復になってしまったのが残念でした。</p> <p>*音羽山のパノラマ景観は絶品でした。少し距離があるビスターリでしたが、皆さんの健脚に沿ったコース設定だったかと思っています。</p> <p>*ヒヤリハットなし</p> <p style="text-align: right;">記入 安井芳男</p>				

ジャンル レク部	山 行 報 告 西山ハイキングクラブ		
行き先	レク部プチ散歩 黄檗山 萬福寺		
日 時	2021年11月8日(月)	天 気	晴
リーダー	和田喜美子	サブリーダー	山岳邦枝
<p><参加者> 17名 男性 2名 女性 15名 安達千代子、植村節子、片山富子、木下敦子、久貝浩子、小林富子 澤田博、清水伊都子、鈴木洋一、鈴木純子、田口博子、中村あさ子 持永由紀子、山下美喜子、山川千津子、山岳邦枝、和田喜美子</p>			
<p><コースタイム> JR 桃山駅 集合出発 10:00～乃木神社10:24 ～桃山御陵 10:52～宇治川 河原 軽食 12:10～隠元橋 12:25～萬福寺 到着 解散 12:50</p>			
<p><リーダー報告> ☆ 天気予報にヤキモキしましたが晴れてほっとしました。 ☆ 集合場所へ皆さん、最適な方法で来られていた。 ☆ 桃山駅からそぞろ歩きで乃木神社へ、まだ七五三のお子さんの姿は見られなかった。 ☆ 御陵の入口で自己紹介、班分けをして歩き出す。樹々に囲まれた厳かな雰囲気、参道の脇には伏見城の石垣に使われた巨石が置かれていた。御陵の正面の階段の上からは向島ニュータウンや宇治川が望めた。 ☆ 正面の階段を下る方、坂を下った方は昭憲皇后陵を見て合流。 ☆ 京阪桃山南口駅から南口のメイン通りを南へ進んで宇治川の堤防へ出る。土手を降りてゆったりとした流れを見ながら歩く ☆ 河原で軽食を摂る。すすきの原、宇治川の向こうに西山が眺められた ☆ 隠元橋、隠元禅師の碑があったがゆっくり出来なかった。隠元橋からは車が猛スピードで行きかい歩道も狭く歩き難く横道に入った。 ☆ 12時50分萬福寺着、解散。拝観の方もあった。予定より遅れた。 ☆ 桃山御陵周辺は歴史的に興味深い地域なのに説明をお願いすることも出来ず申し訳なく思っています。残念。 記入者 和田喜美子:</p>			

ジャンル 一般	山 行 報 告 西山ハイキングクラブ		
行き先	Enjoy 大文字山北斜面散策道		
日 時	2021年11月8日(月)	天 気	晴れ
リーダー	福田設子	サブリーダー	池澤晶子
<p><参加者> 8名(男性1名 女性7名) 旭眞 池澤晶子 和泉奈緒美 太田純江 田村佐多子 永田芳江 深田雅子 福田設子</p>			
<p><コースタイム> 八神社 9:10—火床 9:55—北に下る—太閤岩坂道十字路—比叡見道 出合坂四辻分岐 10:30—山頂(三角点)11:05 昼食 11:20—フライパン 11:45—熊山乗越—幻の滝道尾根 12:50—千人塚 13:35—霊鑑寺 13:55 バス停 14:10 解散</p>			
<p><リーダー報告></p> <ul style="list-style-type: none"> * 山行案内を見たけどコースをたどるのが難しかった、よくわからなかった、などの声をいただいたので、全員揃うまで地図を広げてコースの確認をしました。初めて歩くところが4箇所あり、番号もないのが原因でした。 * 山頂に着いたら11:05でしたが、全員一致で昼食タイムに。しかしながら黒い雲に覆われて、風も出てきて寒い！雨もパラパラ降ってきて、雨具を着てそそくさと食事を済ませフライパンにむかいました。 * フライパンでは雨も止んで空も明るくなり、改めてコーヒータイムを取りゆっくりできました。目の前に山柿の大木があり枝もたわわに実がついています。渋柿?? * 幻の滝道から「好きなところを登ってください」と声掛けして、道なき急斜面を一気に登り尾根に上がりました。 * 紅葉には少し早くて残念でしたが、秋の深まりを感じられる一日でした。 * ヒヤリハットはありません。 <p style="text-align: right;">記入者 福田設子</p>			

ジャンル らくらく	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	あまるべ よろい 余部～鎧～たかのすの森		
日時	2021年11月10日(水)	天気	晴れ
リーダー	草場克彦	サブリーダー	高垣真二
<p><参加者> 会員11名 (女性7名 男性4名) 五十棲節子、片山富子、北千恵子、木下敦子、鈴木純子、永本芳江、林謙佐郎、前原利生、山下美喜子、高垣真二、草場克彦</p>			
<p><コースタイム> JR 京都駅(7:20集合・7:32発)⇒鎧(11:01着)散策～たかのすの森着(11:40)～展望台着(12:20)昼食(12:40)発～余部着(13:30)発(14:30)⇒城崎温泉着(15:30)解散</p>			
<p><リーダー報告></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 兵庫県北部の天気予報降水確率はここ数日も50%を上下の連続であったが当日は40%を割るとの予報なので実施した。 ところが予報に反し現地は快晴。きのさきを過ぎて車窓に広がる日本海は紺碧の空に沖つ白波。全くラッキーであった。 2 今回の山行場所は資料が少なく香美町の観光課に問い合わせしてみた。大量のパンフレットの送付や、説明など非常に親切で鎧の駅に「歓迎！西山ハイキングクラブ御一行様」の横断幕でもかかっているのかと思うほどであった。(かかってなかったです) しかし8月に下見に行ったとき気になっていた倒木や徒長した雑草の除去、刈り込みも終えてきれいに整備してあった。 3 「たかのすの森」は海側の樹木の整備、伐採で見通しをよくしたり樹種の設計など考えれば、山陰海岸国立公園ジオパークの一翼を担う重要地点になると思う。 4 こもシカのフンが多くみられ森林整備に影響しそうである。 5 出発前に各自切符を購入してもらったが、特急券、ジパングクラブ、往復、片道等知識不足で、無駄な負担をかけてしまった方があり、細かく事前調査をもっと綿密に行い徹底すべきであった。 6 集落散策やハイキングコース、列車の乗換など危険や道迷いなどに備えて全員携帯電話の持参をお願いして、万一来るようにした。 <p>(ヒヤリハットなし) 記入者:草場克彦</p>			

ジャンル らくらく	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	西山古道(京都周辺低山)			
日時	2021年11月10日(水)	天気	曇り時々晴れ後雨	
リーダー	中村好夫	サブリーダー	田中義子 藤本真弓	
<p><参加者> 会員13名 (女性8名 男性5名) 以西貞子 岸本貴美男 北村初恵 木下裕子 小西弥生 田中義子 中井みどり 中村好夫 西尾久枝 藤本真弓 安井昇太 安井芳男 山本恵俊</p>				
<p><コースタイム> 阪急東向日駅前阪急バス停(8:30集合・善峯寺行8:42発)～善峯寺バス停(9:09着、体操、9:25出発)～善峯寺展望所(9:40)～白糸の滝～京青の森～大沢峠(10:35)～展望台(11:10)～こもれび広場(11:45)～楊谷寺・柳谷観音(12:15、昼食、13:00)～十人橋(14:00)～鉄の橋(14:10)～西代里山公園(14:20)解散</p>				
<p><リーダー報告></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 晴れ、曇り、雨と一日の天気がかかる変わって。昼食時間中に強く降ったが、その後、小ぶりとなりほとんど雨は感じなかった。解散後、少し強い目に降ってきた。いよいよ冬の訪れかと感じた。 2 西山古道を一回で通して歩いたという参加者はほとんどなく、初めての経験の参加者が多かった。 3 雨上がりで、遠くまで展望がきいた。コース上2カ所の展望所があり、善峯寺展望所からは、紅葉を始めた善峯寺が見られ、ゴルフ場を過ぎた展望所からは京都市街をはじめ、東山、北山などの展望を楽しんだ。 4 昼食は、楊谷寺・柳谷観音の休憩所をお借りした。同寺は、来年から拝観料を実施すると告知してあった。 5 ジャンルをらくらくとしたが、後半に急坂などがあり、ジャンルとしては少し厳しかったかと反省した。 6 善峯寺から古道へ入るところの橋が流されていたようだが、整備をしているみなさんによって復旧されていた。感謝々々。 7 参加者の一人が、柳谷観音で足の調子がよくないとタクシーで下山された。タクシーなので、特に同行は必要ないと判断し、他のみなさんと山行を続けた。無理をせず、適切などころでの申し出は良かった。 8 ヒヤリハットなし。 <p style="text-align: right;">記入者:中村好夫</p>				

ジャンル 岩登り	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	はじめてのインドアクライミング 第94回 やまびこ くらぶ		
日時	2021年11月10日(水)	天気	曇り
リーダー	猪倉美佐子	サブリーダー	峯尾靖子
<p><参加者> 11名(男性 3名、女性 8名) 旭真、上出克代、木地弘恵、北川真理、馬場重明、峯尾靖子、 横山共栄、猪倉美佐子、 (乙訓山の会)上口 昇、矢野啓子、永石睦子</p>			
<p><コースタイム> 原谷やまびこくらぶ2F 14:00~17:00</p>			
<p><リーダー報告> ヒヤリ・ハットはありません。 *やまびこのロビーに今日は野菜がずらりと並んでいた。大根、かぶら、 こいも、水菜、ネギ、キウイ、ユズ、クルミ、どれも100円。 つい買ってしまって帰りのリュックが重くなった。 *今日は私を含め、調子のよくない人が多かった。何本か登ると腕が パンプして手こずっていた。 *調子のよい人はむずかしいルートにもチャレンジしていた。頼もしい。 *ビレイは安全にクライミングを楽しむために注意して行いたい。 ビレイをする人(ビレイヤー)は常にクライマーの登る動きに注意する事 右手(利き手)は常に下に下げてロープをにぎっておく事。ロープを引 く一瞬のみ上にあげてすぐに下げる。上にあげたままにしておくと、 ロープが流れてクライマーが落ちてしまうことになる。 *調子が悪くても仲間と登っていると楽しい。何か一つでも前回よりも良 いところがあればよしとしたい。</p>			
			
<p>記入者:猪倉 美佐子</p>			

<ジャンル> 一般	 山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	祖母山		
日時	2021年11月12日(金)～14日(日)	天気	曇り
CL	馬場重明	SL	旭 眞、前原利生
<<参加者>> 7人(男性4、女性3)……旭眞、池澤晶子、井上美智子、野村輝行、馬場重明、峯尾靖子、前原利生 ※敬称略			
<<アクセス・コースタイム>> (記録担当 野村輝行)			
[第一日目] 11月12日(金) 移動(雨～曇り)			
各地から→大阪・伊丹空港(6:45集合)7:30→<JAL2361>→8:35大分空港8:55→<連絡バス>→10:03大分駅10:54→<JR>→11:53緒方(昼食)13:00→<豊後大野市コミュニティバス>→14:29尾平鉦山・LAMP豊後大野(泊)			
[第二日目] 11月13日(土) 祖母山登山(曇り)			
宿舎6:35発～6:55吊橋北詰(休憩5分)～7:30(休憩5分)～8:05二合目(休憩10分)～8:40(体調調整・休憩15分)～9:20展望良所(休憩5分)～10:00四合目・宮原(休憩10分)～10:40馬の背手前(休憩5分)～11:20メノツラ谷分岐(休憩5分)～11:35九合目～12:00祖母山頂上(1756m 昼食30分)12:30発～12:50九合目小屋(休憩10分)～13:07メノツラ谷分岐～13:30(休憩5分)～14:05四合目・宮原(休憩10分)～14:45展望良所(休憩5分)～15:25(休憩5分)～15:48二合目～16:00(休憩5分)～16:35(休憩5分)～16:57吊橋～17:20LAMP豊後大野(泊)			
[第三日目] 11月14日(日) 観光・移動(晴)			
宿舎8:55→<タクシー>→9:40原尻の滝(見学)10:10発→10:30豊後竹田城(岡城)跡(散策)11:45発～12:00ホテルつちや(解散・昼食)13:00～13:20竹田温泉・花水月(自由行動)15:15→<特急バス・やまびこ号>→17:22阿蘇くまもと空港(夕食等)19:15→<JAL2392>→20:35大阪・伊丹空港→各地へ			
<<リーダー報告>>			
◆九州の山をほとんど登ったことがないCLが年初から立案し、5月もしくは8月に祖母山と阿蘇山を登る計画を立てた。しかしいずれもコロナ禍で断念。日程を再検討し、紅葉に期待して11月で再計画。ところが山行直前の10月に阿蘇山中岳が噴火。結局、祖母山のみとなった。			
◆「山と溪谷社」の「百名山登山ガイド」どおり反時計回りに、宮原コースで登り、黒金山尾根を下るコースで計画した。このコースは「初心者のコースタイム7時間30分」と紹介されていたので、気楽に考えていたが、本格的に調べ出すと、黒金山尾根が難路であることがわかった。そこで直前にCL・SLで相談し、宮原コースのピストンに変更した。			
◆山行直前に日本列島を寒気が覆うという厳しい条件が加わった。天気予報も外れまくり、九州にむけて出発した日の朝は雨が降った。			

◆山行当日は、明るくなるのを待って出発。急登をゆっくり登った。四合目・宮原までは標高差 800mだから、清滝から愛宕山頂上までと変わらない。愛宕山なら 2 時間～2 時間 30 分で十分に登れるが、ここはロープ・クサリなどの難所も多く、3 時間 30 分かけて登った。紅葉が美しい樹林帯に行く。宮原から先には岩稜帯の難所・馬の背が待ち構えていた。メンノツラ谷の分岐あたりから樹々の枝々にエビのしっぽがつく見事な樹氷の世界が広がっていた。九合目小屋を過ぎると地面にも薄く雪が積もっていた。恐らく初冠雪でしょう。ここもゆっくり慎重に登降した。一等三角点の鎮座する祖母山頂上はたくさんの登山者で賑わっていた。もっとも楽な神原コースで登ってきた人が多かったようだ。

◆総行動時間 10 時間 45 分。ジャンルは「健脚に近い一般」ではなくまさに正真正銘の「健脚」だった。簡単に登らせてくれる百名山はないことをあらためて思い知らされた。なおこの日の日の出は 6:43、日の入りは 17:15。秋は日照時間が短いことを考慮した計画が求められる。

◆最終日、阿蘇山登山の代わりに、ナイアガラの滝の小型版のような原尻の滝見学と滝廉太郎の「荒城の月」で有名な豊後竹田城（岡城）跡の散策をした。いずれもすばらしい景観で感動した。有志で温泉も堪能。

■ヒヤリハット……登山口から 2 時間ほど登った所で、男性 1 人が体調不良を訴えた。一時は断念・下山を検討したが、15 分ほどの休憩で回復し、荷物の分散・軽減、さらなるペースダウンで続行できた。予想外の積雪で、軽微なスリップ、尻餅、転倒もあった。 <報告：馬場重明>

収支報告

(会計担当 池澤晶子)

	内 容	金額
収入	徴収会費@22000×7 (伊丹往復各自、航空券は前納)	154000
支出	交通費往 (バス 大分空港→大分駅) ×7 ※割引有	8350
	交通費往 (JR 大分→緒方) @1130×7	7910
	交通費往 (コミバス 緒方→尾平鉦山) @300×7	2100
	交通費復 (ジャンボタクシー 尾平鉦山→岡城跡)	13600
	交通費復 (バス 竹田温泉→熊本空港) @2040×7	14280
	宿泊費 (LAMP 豊後大野一泊二食+暖房費) @6800×2×7	95200
	観光費 (岡城跡=豊後竹田城跡入場料) @300×7	2100
	通信費・事務費	2060
	残金返戻 @1200×7	8400
	支出計	154000

ジャンル ビスターリ	山 行 報 告 西山ハイキングクラブ		
行き先	山科から大文字6 傘の道～中尾の滝		
日時	2021年11月13日(土)	天気	晴れ
リーダー	山下美喜子	サブリーダー	安井昇太
<p><参加者> 女性6名 男性3名 計9名 岸本貴美男 草場眞知子 高田江理 夏原典子 安井昇太 山口幾世 山下美喜子 山本恵俊 横山共栄</p>			
<p><コースタイム> JR山科駅8:30ー傘の登山口9:00ー鏡山9:35ー神山10:10ー 小峠10:25ートレイル④11:00ー大文字山11:45昼食12:30発 ー幻の滝ー中尾の滝13:10ー登山口14:00 解散</p>			
<p><リーダー報告></p> <p>A 皆さん定刻に元気に集合する。朝は良く冷えたが青空の快適な天気となる。毘沙門天のまえで、自己紹介・コース説明・体操をする。</p> <p>B 始めは急登で足を踏ん張って力強く登る。上に上がるとふかふかの良い道になり、皆さんに好評であった。鏡山、神山近くに山科、大阪方面が展望できる場所が2か所あり、生駒山 大坂のビル群までもうっすらと見えた。下って小峠に出て、また、急登を登る。トレイル④に合流しそれからは、ずっとトレイル道をいく。頂上は大変な賑わいであった。太陽を浴びゆっくり、昼食を摂る。</p> <p>C 大文字北斜面は、静かな山道となる。SLの迷わないリードに安心し、地図を確認しながら歩を進める。幻の滝・中尾の滝のモミジはまだ青々していた。中尾の滝から下る山道のモミジは、陽を浴びて美しく紅葉していた。中尾城跡に立ち寄り 山鉾の菊水の板を見つけた。もう少し下には定方の板を見つけた。初めてのことで嬉しかった。SLが教えてくれた。</p> <p>D 銀閣寺参道は、すごい賑わいで、人をかき分けて進むがごとくで、お店も客が並び、大繁盛であった。最後まで皆さんの足取りはしっかりしていた 山行時間5時間49分 8,5キロ 累積上り652m 下り642m 2万歩余り</p> <p>E ヒヤリハットなし 記 山下美喜子</p>			

ジャンル 一般	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	芹生峠～貴船山			
日時	2021年11月13日(土)	天気	晴	
リーダー	猪倉美佐子	サブリーダー	猪倉 清	
<p><参加者> 11名(男性2名、女性9名) 猪倉 清、和泉奈緒美、木地弘恵、谷口信子、田村太二、永田芳江 日野加代子、福田設子、吉谷由美子、吉田京子、猪倉美佐子</p>				
<p><コースタイム> 京都バス出町柳発 7:50—8:53 花脊峠着 9:00—天狗杉 9:35—旧花脊峠 10:03—10:15 京見坂 10:20—鉄塔 10:43—P766 西の ピークで昼食(11:30～12:00)—芹生峠 12:16—滝谷峠 13:12—貴船山 13:54—貴船口分岐 15:07—貴船口 15:30—京阪電車きさら乗車 15:35 出町柳着 16:05</p>				
<p><リーダー報告> ヒヤリハットはありません。 *北山は、夏はヒルで敬遠していたが秋になると又、歩きたくなった。 *天狗杉の頂上付近は倒木が目立った。 *京見坂から芹生峠は地図読みしながら静かな尾根歩きが出来た。 落ち葉を踏みながらのふかふかの山道で倒木も見かけなかった。 真っ青な空に紅葉黄葉が映え、自然とカメラに手がいく。 *芹生峠から P.760 を越えて滝谷峠への道は、取りつきは少し急だが 思っていたより歩き易い気持ちの良い尾根だった。 *最近の例会で足攣りの人が続いたので昼食後に血行を良くするように 足のストレッチをした。攣った場合はカイロで温めると良いそう。リュック に湿布と一緒に貼るカイロも入れておこう。 *最後の貴船口への道は 1/25000 には載っていないが道標があり、急 だがよく踏まれていた。降りたところが京阪電車の貴船口駅なので便利 *4時ごろ下山の予定だったが 30分早く着いたのでちょうど展望列車 きさらに乗車出来、二ノ瀬～市原間のもみじのトンネルを見られた。 赤く色づいている木もあったが1週間位後が見頃の様だった。</p> <p style="text-align: right;">記入者:猪倉美佐子</p>				

ジャンル らくらく	山 行 報 告			西山ハイキングクラブ
行き先	鞍馬から貴船			
日 時	2021年11月14日(日)	天 気	晴れ	
CL	田村佐多子	SL	福田設子	
<p><参加者> 9名 植村節子 北千恵子 木下敦子 久貝浩子 島田江里子 鈴木純子 田村佐多子 福田設子 森川康子</p>				
<p><コースタイム> 出町柳駅 9:30→10:04 鞍馬駅 10:15→10:25 仁王門 10:30→10:40 由岐 神社 10:55→11:45 本殿金堂 12:00→12:05 霊宝館(昼食) 12:35→12:50 奥の院 12:55→13:20 西門→貴船神社(解散) 13:35</p>				
<p><リーダー報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天気はよく、人出は下見に行った時よりも大変、多くなっていました。貴船神社では参拝のための長い列ができていました。 ・ 六分位の紅葉でしたが、赤や黄色のコントラストが美しく、ゆっくりと眺めながら歩きました。 ・ 私は、主な地点で説明し、SLの福田さんは、鹿子の木やベニバナゴロキクなどの花々・大杉権現社の20年前の様子を話されました。 ・ 一つ目のパワーポイント 金剛床では宇宙からのパワーを授かり ・ 二つ目のパワーポイント 奥の院魔王殿では天狗の力と山の力を授かりました。 ・ ヒヤリハットはなし。 <p style="text-align: right;">記入者： 田村佐多子</p>				

ジャンル 一般	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	大比叡(比叡山山道)		
日時	2021年11月14日(日)	天気	晴れ
リーダー	中村 好夫	サブリーダー	北川 真理
<p><参加者> 会員9名 (男性4名、女性5名) 北川真理 小西弥生 田中義子 中村好夫 深田雅子 藤本真弓 安井昇太 安井芳男 山本恵俊</p>			
<p><コースタイム> JR 京都駅湖西線(8:41発)⇒JR 比叡山坂本駅(8:59着)江若バス(9:10発)⇒日吉神社前(9:15着)～日吉東照宮(9:25、体操、9:40)～比叡山高校グラウンド横～権現山～裳立山分岐(11:00)～坂本ケーブル延暦寺駅(11:25)～大比叡手前の墓碑(11:55、昼食、12:25)～大比叡(12:40)～延暦寺境内～坂本ケーブル延暦寺駅(13:30)解散</p>			
<p><リーダー報告></p> <ol style="list-style-type: none"> 晴れの気持ちの良い一日であった。ただ、風は冷たく休む場所を考慮しながら休憩をとった。 先月の大比叡に続いて、今回も大比叡へ大津側からの登山道を歩いた。地形図に乗っているルートだが、ガイドブックにはあまり掲載のないルートで、いつも静かな山歩きが楽しめるコースである。今回も、数組しか会わなかった。2年間毎月、比叡山の道を歩いているが、まだ使っていない道もあり、それぞれ変化のある山道である。 山頂付近は、多くのグループが登っていた。軽装や地図を持たないハイカーもいた。山頂付近は道標も少なく、道迷いが心配である。 紅葉はしっかり進んで、見頃になりつつあった。 延暦寺では、秋の特別拝観がされ、参拝客も多かった。ツアーの団体客や延暦寺がガイドをしている組み、そのほか多くの人であふれていた。駐車場も他府県からの車で満車状態だった。 下山は日本一長い坂本ケーブルを利用した。乗客が多いので、臨時便が出ていた。 天気が良いので、御嶽山や白山が見えるかと楽しみにしたが、残念ながら霞んで見えなかった。これからの季節に期待したい。 ヒヤリハットなし。 <p style="text-align: right;">記入者:中村好夫</p>			

ジャンル ビスターリ	山 行 報 告			西山ハイキングクラブ
行き先	天ヶ岳 788m シャクナゲ尾根			
日 時	2021年11月17日(水)	天 気	晴れ	
リーダー	山下美喜子	サブリーダー	加藤ゆり、野村輝行	
<p><参加者> 女性4名 男性5名 計9名 旭 眞 片山富子 加藤ゆり 岸本貴美男 高垣真二 谷口信子 野村輝行 前原利生 山下美喜子</p>				
<p><コースタイム> 国際会前 8:57⇒小出石 9:30～天ヶ森分岐 9:45～シャクナゲ尾根登山口 10:00～<シャクナゲ尾根>～寂光院道分岐 11:50～12:40 天ヶ岳(昼食) 13:20～<寂光院道>～15:20 寂光院・解散</p>				
<p><リーダー報告></p> <p>○ 快晴の青空の下、素晴らしい紅葉景色の中、寒さを感じることもなく、心地良い山行を楽しむことできた。</p> <p>乗車バスは大原を通過するバス。出発地国際会館前バス停は、長蛇の列、しかしながら、バス降車地、小出石では我々だけであった。</p> <p>1 登山口で準備体操。シャクナゲ尾根にとりかかる急登、柔らかい土道の登り道を辿る。いきなりの急登、ゆっくり登る。緩くなり、シャクナゲ尾根の表示板の立つ地点で小休止。</p> <p>2 尾根は名の通りシャクナゲの木が顔を出す。残念ながら、今は、花はない。来年こそ、“花の咲く頃、楽しみたい”と、そんな声が聞こえて来た。アップダウンの続く、尾根道をたどり、見晴らしの良い鉄塔の広場を過ぎ、ようやく寂光院道の分岐到着。時刻は、12 時前。ここで昼食の声もあったが、頂上までは遠くないと出発。</p> <p>3 ほどなくして、岩盤も顔を出す急登を、注意して辿り、ようやく山頂到着。見晴らしはないが、ゆっくり昼食を楽しんだ。</p> <p>4 下山開始。しばらくは、登ってきた道、急下りの坂道を慎重に降り、寂光院道にとりかかる。倒木の為、迂回を余儀なくされた所もあったが、ゆっくり山道を下る。</p> <p>5 寂光院に近い下り道は、足元悪い、急下りのガレ道。慎重に下る。</p> <p>6 寂光院に到着、解散。(大原バス停まで 15 分の地点)</p> <p>○ ヒヤリハット : なし</p> <p style="text-align: right;">記入者: 野村 輝行</p>				

ジャンル 一般	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	紅葉の東尾根と晩秋の竈ヶ谷を歩く		
日時	2021年11月17日(水)	天気	晴れ
リーダー	草場 眞知子	サブリーダー	峯尾靖子
<p><参加者> 会員 6名 (男性1名) (女性5名) 井上美智子 木下敦子 草場眞知子 林謙佐郎 能登恵美子 峯尾靖子</p>			
<p><コースタイム> 善峰寺駐車場前8:50(準備体操) → 善峰展望所9:12 → 釈迦岳10:23 → 東尾根分岐 10:30 → 竈ヶ谷への分岐 11:00 → 竈ヶ谷11:30(昼食) → 東尾根分岐 12:38(tea time) → 杉谷 14:00 → 善峰寺駐車場前 14:35(解散)</p>			
<p><リーダー報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・善峰寺駐車場前の登山口からの小橋が新しく作りかえられていた。 ・釈迦岳へ向かう尾根の2ヶ所が数ヶ月前の長雨で土砂崩れを起こしたのか、たくさんの木がなぎ倒されいて通りにくかった。 ・東尾根分岐辺りから美しい黄色のタカノツメや名前はわからなかったが様々な紅葉した高木が陽に照らされて輝いているようだった。 ・足元の落ち葉も秋色の絨毯のようで、フワフワの落ち葉の上をカサカサと音をたてながら歩くのは、なんとも気持ちの良いものである。同時に、下り道では滑りやすいので注意しながら歩いた。 ・イヌブナの林から東尾根への取りつきの辺りで、自然保護の作業をされている方と少し話ができた。日々の地道な活動のお陰で私たちが美しい自然を享受できることに感謝したい。 ・東尾根に上がったところで TEA TIME。6人なので、ちょっとした山の贅沢 TIME がとれてほっこりした。 ・距離 7, 8km 累計高度上り694/下り703m 合計時間 5時間34分 ・ヒヤリハット無し。 <p style="text-align: right;">記入者 草場 眞知子</p>			

ジャンル 一般	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	小塩山金蔵寺 紅葉狩り			
日時	2021年11月17日(水)	天気	晴れ	
リーダー	木地 弘恵	サブリーダー	永田 芳江	
<p><参加者> 会員 11名、(男性 2名、女性 9名) 以西貞子、木地弘恵、木下裕子、久保まさ子、公森満子、藤本眞弓 永田芳江、永本芳江、安井昇太、山本恵俊、吉谷由美子</p>				
<p><コースタイム> 大原野神社 9:30～登り口の橋 9:50～林道 10:00～林道 10:20～ 林道 11:10～小塩山山頂 11:40～金蔵寺分岐 13:10～金蔵寺 13:40～ 正法寺分岐 14:45 解散</p>				
<p><リーダー報告></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大原野神社の駐車場前にある店で草餅を購入したが事前に伝えていたネットでしらべた値段が古い情報だったようで、値上がりしており、徴収が手間取った。店に確認しておくべきだった。 2 林道で大きい猿が出現。横切って行っただけで大丈夫だった。 3 小塩山のもみじも紅葉していて美しかった。 4 ゆっくり登り、多く休憩をとった。 5 小塩山山頂近くのアンテナ前の広場で昼食。持ち寄った下茹でした材料を合わせて豚汁を2リットル鍋 2 つ分作った。具沢山の熱々の豚汁、おいしゅうございました。 5 金蔵寺のもみじ、見事に紅葉したもみじを愛でながら、草餅を食べた。 6 ヒヤリ・ハットなし。 7 例会の最中に自前で用意したもの以外を食べることを自粛してきたが、例会中に草餅をみんなで食べたいと SL に相談したところ、賛成！と心強い返事で本計画を進めた。その上、参加者の Y さんからの提案で豚汁まで出来て、大変おいしく楽しい例会になった。快く下茹でした具材やバーナーと鍋などを用意してくださった皆様、ありがとうございました。 <p style="text-align: right;">記入者:木地弘恵</p>				

ジャンル 健脚	山 行 報 告			西山ハイキングクラブ
行き先	六甲・芦屋ロックガーデン			
日時	2021年11月18日(木)	天気	晴れ	
リーダー	久世谷 登志子	サブリーダー	横山 共栄	
<p><参加者> 池澤晶子 太田純江 久世谷登志子 福田設子 横山共栄 女性5人 計5人</p>				
<p><コースタイム> 阪急芦屋川 8:40~9:20 地獄谷 9:25~10:15A 懸垂岩~10:55 ピラーロック 11:00~11:50 キャッスルウォール上部(昼食) 12:20~12:40 岩梯子~13:35 荒地山 13:45~14:20 キャッスルウォール下~15:00 高座の滝の茶屋(解散)</p>				
<p><リーダー報告> (皆に知ってもらいたい事・改善点・ヒヤリハット・感想等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋晴れの登山日和となった。風もなく気持ちがよく、歩きだすと暑いほどでした。土日でもともと人の少ないコースなのだが、平日なのにちょこちょこと人にであった。野良ネコが沢山いて増えている様に思った。 ・同じコースを毎年1年に1~2回取り組んでもう数年経つが、冒険心がくすぐられて飽きない。同じ思いの方が数人おられて、また計画してしまう。今回初めては池澤さん、すいすい登られて楽しそうだった。 ・荒地山からキャッスルウォールの下までの下りは、今までいろいろな道を辿ってきたが、今回、終始横山さんに先頭を歩いてもらって、使われた山道が判りやすく、最短でもあってよかった。 <p>★ヒヤリハットなし</p> <p style="text-align: right;">記入者:久世谷登志子</p>				

ジャンル 一般	山 行 報 告 西山ハイキングクラブ		
行き先	北山 百井の別れ～天ヶ岳～焼杉山		
日 時	11月19日(金)	天気	晴れ
リーダー	林ただし	サブリーダー	岡庭美恵子
<p><参加者> 7名(男性1名、女性6名) 和泉奈緒美 今村富久美 岡庭美恵子 林ただし 深田雅子 吉田京子 吉谷由美子</p>			
<p><コースタイム> 京都バス出町柳 7:20 発 → 百井の別れ 8:16 着/8:25 発 - - - 百井峠 10:10 - - - 天ヶ岳 10:00/10:20 - - - 寂光院道 P604 (昼食休憩) 11:35/12:00 - - - 焼杉山 13:20/13:30 - - - 大原バス停 15:05 着 解散 国際会館行臨時バス 15:20 発乗車</p>			
<p><リーダー報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この時期にしては暖かな日。平日ということもあり、登山客はなく、静かな山中。紅葉のピークは過ぎ、季節は、確実に冬に向かっていく。 ・ 百井の別れからは、南東に林道を行き、百井峠へ。天ヶ岳への尾根が林道また林道で分かりにくい。道なき道を踏み、「これもまた、楽し」とようやく、尾根に出た。ヤママップが威力を発揮する。 ・ 天ヶ岳山頂は、展望もなく、少しの休憩で写真を撮って寂光院道に向かう。シャクナゲが来春に向け花芽をつけていた。 ・ P566から焼杉山への午後の登りはこたえた。山頂には三等三角点と「大原の里 10 名山」の標識があった。 ・ 下山の草生尾根は、多少の倒木があるものの明るく歩きやすい。大原に向かうに連れ、黄葉・紅葉が美しく、観光客も多かった。 ・ 二人の I さんが意気投合。何と同郷、同窓という。新人の I さん、これからもどんどんご参加ください。 ・ ヒヤリハットなし。 ・ 以上、CL確認済み。 <p style="text-align: right;">〈記入者 岡庭美恵子〉</p>			

周山城跡

10月19日 中井みどり

立派なお城もよいけれど、分かり易い中村さんの解説を聞いていなければ気付かずに通り過ぎてしまいそうな、明智光秀が築いた山城跡を歩いて来ました。戦さの為とはいえ、不便な山頂まで登り下りを繰り返した戦国の武将や足軽たちの強靱な体力は何処からと、食糧事情の良くない時代なのにと、余計なことを思っていました。

遺跡の説明を聞いた時に、所どころ立ち止まっただけの歩きだったので、久しぶりでも何とか歩くことが出来ました。お城や城跡に限らず、寺社・仏閣の建築物に庭園等々の歴史を知るのは楽しいですね。

皆様、お世話になり有難うございました。

大杉谷～日出ヶ岳

10月29日～30日 谷口信子

健脚の山行は、初参加でした。スタート時、ハラハラドキドキ度、80%ワクワク度、20%でした。

素晴らしいエメラルドグリーンの川を見るゆとりがなく、一步一步慎重に鎖を頼りに、只々足を進めました。幾つもの吊橋、豪快な滝です。

桃ノ木山の家では、英気と活力を養うありがたいお風呂でした。最高！

2日目、段差、木の根っこ、石ゴロゴロ、長い階段を、登りきると日出ヶ岳1,695mに到着。嬉しい！天候にも恵まれ、皆さんと一緒に出来ました。達成感100%、満足度100%です。

本当にありがとうございました。

大杉谷～日出ヶ岳



R3.10.29～30 永本 よしえ

2年前にユーチューブで大杉谷の動画を観て、なんと美しい渓谷かと感動を持ち続けていました。行きたい念願がかなって、馬場さんより今年5月に計画を立てていただき、トレーニングとして愛宕3山にも登り参加者全員が心も体も準備していたのです。ところが残念なことにコロナ緊急事態宣言発令中のため、中止となりました。

今回はコロナ感染がどう広がるかは予想はできませんでしたが、春の計画を何としても行きたい思いが強く秋にリベンジとなりました。参加者の強い気持ちが実を結び、雨の多い渓谷ですが、終始全く天候の不安なく爽快な秋晴れでした。1日目は大杉谷の渓谷の写真をいっぱい撮る予定でしたが、ながらスマホは危険なので禁止とCLの馬場さんからくぎを刺されたので全員が休憩場所での撮影に夢中でした。豪快な岩から流れる千尋滝(せんびろたき)、エメラルドグリーンの透き通った水の流れは、自分の淀んだ心が洗われるような気持ちになりました。それを見るためには岩に打ち込まれた太い鎖を持ちながら岩のトラバースを超えていく緊張感があったからこそ感動がもらえたのだと思います。最近立て続けて尻もちをついていたので、滑らないように慎重に足を運びました。名前も数もおぼえきれないくらい吊り橋も多く渡りました。揺れるのは怖くて足がすくみますが吊り橋から所々黄色く紅葉した山々やそそり立つ巨大な一枚岩は見事な景観でした。

2日目は桃ノ木小屋から出発し七つ釜滝、堂倉滝はそれぞれ個性を發揮した見事な滝です。渓谷を後にして標高1695mの日出ヶ岳を目指し、ひたすら登りに専念しました。木々で囲まれたシャクナゲ坂はいつか花が咲くころ登る日のためにお預けです。登頂したときは全員で肘タッチで達成感を分かち合いました。

今回の計画を立てて導いてくださったCLの馬場さんに深く感謝するとともに参加者全員が役割を果たし、一人もけがや事故がなく下山できたことがありがたいと思います。今年一番の目標であった大杉谷、大台ヶ原に行けたことで益々山登りの楽しさにはまりそうです。

大杉谷

10月29日～30日 島田江里子

昨年大杉谷に行かれた写真とビデオを見て、あの素晴らしい景色を見に私も行ってみたいと思う反面、怖がりの私には無理と思い、家族も危ないと反対していました。それでも一緒に行こうと熱心に誘ってもらい、三点支持やトレーニング山行を重ね、馬場さんから大丈夫とお墨付きをいただき、コロナ禍での延期を経て、ようやく実現しました。

大杉谷は快晴で、渓谷沿いの細くてスリルに満ちた登山道も鎖のおかげで何とか進め、エメラルドグリーンに澄みきった溪流や大小さまざまな滝や、巨岩の数々、いくつものつり橋を揺れながらわたり桃ノ木小屋に着きました。いかにも秘境の山小屋で、カツカレーに満足し、食後はおしゃべり好きなのに、寒さで布団に潜り込むしかなく7時には寝てしまいました。

次の日は大杉谷から他のツアーグループと前後して歩き堂倉滝前でそのグループが早々とお弁当を食べておられるのを見て、まだ9時過ぎなのに、と思いながら、自分の中では早くも桃ノ木小屋のお弁当が頭の中を占領し、何とか次の休憩で「休憩」の掛け声を「昼食」と聞き違え、私のチームは全員食事体制に入り、一口食べたところで、「まだ昼と違うで一」と、大慌てでお弁当をしまい、大笑い！そのあと昼休憩で食べたお弁当は、大きなチャーシューがゴロゴロ入ったおいしい中華粽でした。

そのあとは日出ヶ岳までの登りが、かなりきつくて大変でしたが、延々と続くシャクナゲが咲いているときにまた来たいな一と思いつつ、何とかついていくことができました。一人ではとてもできないことですが、馬場さんの絶妙のリードとみんな頑張ってる、私だって絶対行ける、という思いで完登出来ました。秘境大杉谷の素晴らしい景色の中に身を置き自然を堪能できた最高の山行でした。CL馬場さん、仲間の皆さん、どうも有難うございました。

愛宕龍の小屋と竜ヶ岳

10月29日～30日 木地弘恵

行きたいところがあったら先輩に相談してみたら？のアドバイスに従い、テント例会をされた中村さんに近場で安くテント泊がしたい！と熱烈メールをしたところ、実現してもらえることになった。ありがたや～！

小屋、テントと申し込み多数で嬉しい！しかし、浮かれていたのも初めの内。テント泊、4人だったのが相次ぎキャンセル、とうとうテントは私一人になってしまった。…心細い。

当日も「小屋に泊まったら？」と言ってもらい心揺れ動いたが、自分がテントしたい！と言った手前、折れるわけにはいかん！

楽しい夕食も終わり、真っ暗で冷え冷えとしてきた頃、一人テントに潜り込んで横になってみると、なんと快適なことか！一人の空間、何にも気兼ねすることもなく、下界のことも忘れ、多少寒かったがぐっすり眠れた。

素晴らしきかな、テント！近場で安く！安・近・短でまた来年もやりたいです！次はどこでしょか～？

比良白滝山

11月3日 木地弘恵

道中で見た木々が紅葉していて青空に映えて美しかった。風に舞い散る葉を見て、リーダーが「葉っぱがはらはら落ちてきれいなね～！」と言うのを聞いて、“はらはら”という言葉が頭に残った。

急登を登ってしまえば、あとは楽で北山から池を巡って白滝山、登って下って、見る景色もいろいろあって楽しかった。

下りは足元のゆるいきつい傾斜、道幅の狭さでハラハラドキドキ。

途中、奇妙な声を聞いたと思ったら、猿の群れが出た。威嚇の声か、犬のようにワンワンと鳴く。さらに進むとまた新たな群れが登場。こっちに来ないかハラハラ。下りの先頭を務めたのはSLの清さん、まったくハラハラさせない背筋がピン！と伸びたしっかりとした歩み。どんなところでも歩調が乱れない！後ろに従う方々はこけそうでハラハラ。私は清さんの歩きを盗もうとギラギラ。うん十年培ってこられたものには真似もできない！

最後の林道では道を塞ぐ土砂崩れを超えて行くところが出てきてびっくり！最後までワイルドで面白かったなあ、と周りの人と笑い合った。猪倉夫妻、素敵な例会、ありがとうございました。

美作アルプス 後山^{うしろやま}

11月6日 岡庭美恵子

京都駅からご当地、「大原駅」へは、直行智頭急行「特急はくと」に乗車。これも楽しみにしていた。2時間20分で到着した。

駒の尾登山口から少し登ると爽快な縦走路となる。谷間の集落が見え、谷へ向かう紅葉は、まさに錦絵だ。紅葉のピークが過ぎた枯れの風情もまた良い。ご機嫌な歩きで氷ノ山は確認でき、那岐山は？ と口々にする。

後山山頂も山また山の眺望。遠くは、雲かな？ いや海？

後山登山口(下山)への後半は、溪流沿いとなった。渡渉など危険をとまなう箇所もあったが、その変化が楽しい。沢筋の紅葉は一味違う。明るい溪谷美から杉林へ。その樹間より林道、タクシーが見えたー。

Nさんは、「この齢になって故郷の山に登れて良かった。」と。

誰もがそんな郷愁に誘われるご当地だった。

美作アルプス 後山(1344.56m)

11月6日 長濱 定子

中学校へ歩いて通った4キロの通学路。その途中に雪見橋がありました。その橋から遠くに冬は早くから、春は遅くまで雪をかむった山が見えていました。それが岡山県の最高峰の後山です。いつか登りたいと思っていた山です。例会案内を見て喜んで申し込みました。当日は晴天に恵まれ、秋たけなわの山また山。遠くに瀬戸内海も望めるという船木山、その山頂から稜線を進み後山の山頂に到着！ 素敵な記念写真が撮れました。

この年になって憧れのふるさとの山に登れたという夢のような一日。めっちゃくちゃ楽しかったです！

企画と安全登山に心をくだいてくださったCLの草場さん SLの永田さんに感謝です！

ご一緒頂いた皆さまありがとうございました。

enjoy 大文字山北斜面散策路

11月8日 田村佐多子

このシリーズは何回か参加しています。今回はこの道は何処に繋がっているのだろうと思っていた事が分かったり、凄い急斜面を這って登り、一息ついてから上り読けると見慣れた道にでました。色々、分かってくると興味が増します。シリーズで計画されていることはとても良いと思いました。

西山古道

11月10日 中井みどり

最近では体調不良もあつたりで、体力回復にと予約無しでもokの天トレに、時たま参加していたけれど、しばらくのコロナ自粛。やっと再開した今月も木曜日しかないとのことで残念。(月・木曜は所用あり) それではと、今日の西山古道なら、らくらく4時間となっていたので、これなら歩けるかもと参加しましたが・・・先頭の藤本さんが、気遣いながら歩いてくださったのに、最近では楽な山行しかしてなかったのでもっと足にきてしまい、午後からはリタイヤさせて頂きました。

でも、里山なのに深山と思えるような雰囲気もありで、幾つかの小さい橋を渡ったり、アップダウンもあり、荒れて歩きにくい箇所を緊張しながら歩いたりと変化もありで、古道と名付けられているのが解るような良いコースでした。次は完歩したいです。

善峯寺周辺の紅葉はいまいでしたが、柳谷さんへ近づくにつれ美しい紅葉を見ることができました

皆さん、お世話になりました。感謝・感謝です。



百名山・祖母山

11月12日(金)～14日(日)

峯尾靖子

2泊3日で大分県にある百名山の一つ・祖母山1756メートルに登って来ました。麓は紅葉、山頂は誰もが予想していなかった雪景色を堪能してきました。

夜明けを待って登山開始。そして下山は日没前の5時過ぎ、実に10時間45分の長い一日となったが、馬場リーダーの絶妙なペース配分で7人全員が無事、長丁場の変化に富んだ登山路を歩くことができた。なんといってもこの日のハイライトは山頂の雪景色。木々には海老のしっぽと呼ばれる真っ白な樹氷がびっしり・・・息を呑む見事な景色に登りの辛さや疲れも吹き飛んだ。

しかし下山はぬかるんだ道を滑らないように最大限、気を遣って慎重に歩き時間も余計に使うことになった。この時期、日没が早く果たして暗くなる前に危険な吊り橋を渡ることが出来るのかと大いに気を揉んだが最後はみんなで拳をタッチして健闘を讃えた。しばしみんなの笑顔が溢れる。

2泊した宿は登山口にある廃村跡の学校をイギリス風に改装したモダンなデザインの建物。夕食は鹿と猪のシンプルなワンプレートのジビエ料理。屋外には今流行のサウナもあって雰囲気良く祖母山も眺められ清潔で快適だった。料金も二段ベッドのドミトリ形式で一泊2食付き6,300円の格安。

最終日は噴火で登れなかった阿蘇山の代わりに9万年前に阿蘇山の大噴火の火砕流によってできた原尻滝と豊後竹田にある岡城跡をゆっくり観光。岡城跡は難攻不落の名城、また滝廉太郎の荒城の月のモデルとなった城としても有名。明治の廃城令で建物は壊されたが、今なお美しい石垣が残っている。城内の紅葉も美しく360度の眺望が楽しめ、祖母山、阿蘇山、九重連山の雄大な山容が眺められた。

ランチは地元名物「とり天定食」など・・・リーズナブルで美味しくみんな大満足。最後は温泉で汗を流し熊本空港から帰路についた。

天気にも恵まれ充実の内容で素晴らしい2泊3日となった。行き届いた企画をして下さったリーダー馬場さんに大感謝です。有難うございました。

祖母山

11月12日(金)～14日(日)

野村 輝行

念願の百名山/祖母山、思い出多い素晴らしい山行となりました。心に残る光景は、山頂に続く尾根と山頂近くでの白く輝く樹氷と 渡渉の折、目にした川面に浮かぶ落ち葉の紅葉模様でした。

この時節、九州中央部/祖母山登山で、樹氷を楽しめるとは想像もしていませんでした。樹氷ができる要件「気温-5℃以下、霧、風、樹林」の事、知ると納得でした。当日の山行ルートは、この条件に合致していたのでしょうか。尾根筋（標高1500m）、山頂近く（標高1700m）は風もよく通り、風が作るという“エビの尻尾”も姿を現し、その白く輝く光景も堪能できました。ラッキー！

渡渉の折、目にした川面に浮かぶ落ち葉の紅葉模様、川辺の陸地に続くのが見えました。陸地と誤ってザブンと足を沈めるところでした。

馬場リーダーの適切な歩行・休憩ピッチ、賢明な配慮で、祖母山行及び近場の散策楽しむことができました。感謝です。



祖母山

2021年11月12日～14日 池澤晶子

飛行機で大分空港。JR大分駅から緒方駅下車、豊後大野市コミュニティバス(300円)で宿泊先のLAMP豊後大野に着いた。LAMP豊後大野は予想外のしゃれた洋風の建物に迎えられた。室内も天井が高く広々とした空間がリラックスできる。夕食一日目は鹿肉のハンバーグ、二日目は猪肉ミンチを色んな香辛料で味付けした絶品。ワンプレートに盛られているのは肉とご飯、野菜だが、その美味しさに満足した。前から興味があった、高たんぱく、低カロリー、栄養価も高いと言われる、ジビエ料理が、明日のエネルギー源になり、まさか泊山行でジビエ料理が頂けるとは思ってもなく、嬉しいご馳走だった。

前日の強風予報が気がかりだったが、当日は風がほとんどなく、寒くもなく、良い登山日和になった。馬場さんの良いペースで歩みを進めて行った。頂上に近づくにつれ木々に樹氷がつき、エビのしっぽも付いていて思わず歓喜の声を上げた。樹林の景色は徐々に青空を背に真っ白な雪景色に変わって行って、その美しさに感激した。頂上に着いた頃には曇り空になり眺望は楽しめなかった。下山時にはすっかり雪は溶け、今度は太陽の光を浴びた黄葉の美しさにまた感激した。山道は濡れた根っこ、石、落葉で滑りやすく、ぬるっと滑る粘土質の土にしりもちを付きそうになり、こらえて慎重に歩いて無事下山できた。

当初の計画では阿蘇山も入っていたが、噴火の為、入山禁止になり、「原尻の滝」と「岡城跡」の観光に変わり、それも楽しみと内心ワクワクしていた。「原尻の滝」はタクシーから降りて少し歩くと突然現れた。約9万年前の阿蘇火山の巨大火砕流が冷えて固まった溶結凝灰岩からできた不思議な滝だった。「岡城跡」の始まりは古く、源義経を迎えるため、緒方三郎惟栄が築城したと伝えられている。また家老屋敷の間取りの床面が復元されていて当時の様子を思い起こさせてくれる。滝廉太郎が荒廃した岡城をイメージして「荒城の月」を作ったと言われているのも有名な話だ。

祖母山で幸運にも一日で二つの季節を楽しみ、宿の美味しいジビエ料理、訪れてみたかった観光地、楽しい思い出ができました。馬場さんに感謝、感謝です。ありがとうございました。

第 35 期 第 12 回運営委員会の報告

日 時：2021 年 11 月 11 日（木）午後 7:00 - 8:30

場 所：西山事務所 2 階

出席者：馬場重明、安達正明、依田敏夫、永柳辰夫、旭眞、高垣真二、能登
恵美子、日野加代子、深田雅子、福井京子、福田設子、山下美喜
子、横井重信、吉谷由美子 (14 / 17 名中)

1. 連盟関係の報告・取り組みなど（「京都労山」も適宜参照）

(a) 常任理事会・理事会（安達・中村・則座・能登）

(b) ハイキング委員会（山下、木地）

交流山行：11 月 28 日（日）大文字山・長等山テラス

(c) 自然保護委員会（則座）

自然保護セミナー：11 月 26 日（金）19:00 ひとまち交流館

「今日の自然環境と北陸新幹線延伸問題の今」

(d) 女性委員会（日野、北）

公開山行：11 月 21 日（日）三上山北尾根縦走

(e) 教育遭対（能登）

初級登山学校の事故報告書（7 月 11 日金毘羅での事故）は「京都労山」12 月号に掲載。冬山チャレンジ、冬山勉強会は下記を参照。

アイゼントレ 11 月 3 日、雪上訓練 12 月 18 日-19 日（富士山 5 合目
佐藤小屋付近）、ラッセル訓練 1 月 29 日（堂満岳東陵・道無ルート）

(f) 救助隊

連盟常任理事会・救助隊合同搜索訓練 11 月 13 日-14 日

救助隊総会 12 月 14 日（火）午後 7 時 30 分 連盟事務所

積雪期搬出訓練 1 月 30 日（日）

(g) 事務局長会議（11/2 依田）

i. 労山カレンダーは 27 部注文。会員にはすでに配布済み。

ii. 組織数調査：11 月末時点での会員数を報告。

iii. 栄誉功労賞：在籍 20 年以上の会員を表彰。

iv. 大文字山倒木整理：12月12日（日）「京都労山」を参照

2. 協議事項

(a) 第36回総会について提案する事項・分担などを確認

→（あとの「第36回定期総会について」の所も参照）

i. 日時・場所

11月20日（土）午後・バンビオメインホールで開催。

ii. 議案書について

議案書・運営委員・会計監査の推薦名簿を確認しました。

iii. 総会の場で喜寿の方（下記8名）のお祝いをします。

猪倉美佐子、上出克代、久貝浩子、草場克彦、塩見美子、田中
義子、西千恵子、山口貴生 → 別紙も参照

(b) 引き続きコロナ禍での例会などの取り組みについて

この間の運営委員会で示した方針に従って引き続き取り組みを進めていきます。

(c) 山行一覧の作成については引き続き準備中

3. 専門部の取り組み

(a) 山行部 別紙部会報告を参照

(b) 教育部 別紙部会報告を参照

(c) レク部

(d) 機関誌部

(e) 組織部 別紙部会報告を参照

4. 新入会員および退会者

11月1日付、12月1日付けでの入会申込者はなし

今期（10月末）で次の方が退会されます。すでに承認済みの方も含む。

会員：南井志げ子さん、田中佳代子さん、上田真弓さん、

岸田晴美さん、上田和美さん、青山忠裕さん、高田千代さん

会友：南沢貞子さん

会友に移行：住田芳信さん

11月1日付けでの会員状況は次の通り

会員 129名（家族会員 8を含む。男性 37、女性 92）

会友 20名（男性 5、女性 15）

5. 連絡事項・その他

(a) 全国連盟の予定

全国登山学校交流会：11月6日-7日

全国ハイキング交流集会：11月27日（土）午後1時から5時。

日本勤労者山岳連盟第35回総会：2月19日-20日

(b) 次回運営委員会

12月9日（木）午後7:00 - 9:00 西山事務所 2階

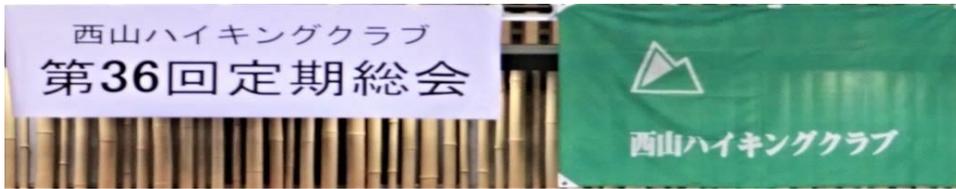
第36回定期総会について

11月20日に行われた第36回定期総会では、87名が出席して木地弘恵さんと操谷俊之さんの議長のもとで審議し、議案および次期運営委員・会計監査については運営委員会の提案通り承認されました。

選出された第36期の運営委員・会計監査は、次の方です。

役職	氏名（新は新任、他は再任）
会長	馬場 重明
副会長	安達 正明 深田 雅子（新）
事務局長	依田 敏夫
事務局次長・会計	永柳 辰夫
運営委員	木地 弘恵（新） 操谷 俊之（新） 小西 弥生（新） 高垣 真二 田村 太二（新） 永田 潤平 日野 加代子 福井 京子 福田 設子 山下 美喜子 横井 重信 吉谷 由美子
会計監査	則包 公子 夏原 典子（新）

【喜寿表彰】



喜寿おめでとうございます



入会年月	姓 名
1986/11.	猪倉 美佐子
1996/04.	上出 克代
2014/01.	久貝 浩子
2003/10.	草場 克彦
会友2018/11入会1987/02.	塩見 美子
1994/04.	田中 義子
1993/01.	西 千恵子
2001/12.	山口 貴生

ここに記念品を贈り喜寿のお祝いとします

総会欠席者には会長が戸別訪問します



11月山行部会報告

日時：11月4日（木）19：00～20：30

場所：事務所2F 司会：日野加代子 報告：林ただし

出席者：五十棲設子、岡庭恵美子、鹿島和子、久世谷登志子、小西弥生、田村太二、永本芳江、林ただし、日野加代子、馬場重明、深田雅子、峯尾靖子、吉谷由美子、依田敏夫

1. ヒヤリハット

10/3 武奈ヶ岳：脚つり、木の根に躓き転倒顔打撲

2. 運営委員会承認事項

追加：12/7（火）一般あちこちポンポン山 CL 林 SL 和泉、小西

1/16（日）雪 金剛山 CL 旭 SL 木地、山下美

3/13（日）一般 六甲シェール槍 CL 旭 SL 木地

2/23~25 スノーシュー 裏磐梯 CL 峯尾 SL 草場眞

12/15（水）超楽天王山十七烈士（林道）CL 山下 SL 安井昇

12/18（土）ビスターリ山科～大文字山小関越え

CL 山下 SL 安井昇

12/18（土）一般 鏡山～城山 CL 猪倉美 SL 深田

2/16（水）雪小出石ナツチョ CL 猪倉清

3/5（土）雪広河原小野村割岳 CL 猪倉清 SL 猪倉美

12/26（日）健脚 蓬萊峡、六甲最高峰 CL 田村太

3.3 5期総括と次期方針

- ・総会時発表の案：論議、確認
- ・35周年記念山行のまとめ
- ・山行部35周年 CL,SL 表彰： 林担当から段取りの発表。

4. 医薬品装備

西山 HC の個人医薬品携帯状況に鑑み団体装備医薬品の見直しをする。担当：岡庭、吉谷、林

3. 新入会員の担当者 木下裕子さん：日野さん担当

4. 次期 部長：吉谷由美子 副：鹿島和子、小西弥生

- ・解散後報告先 天王山トレーニングは小西弥生さんに交代、他は変更なし。

- ・入部 高田江理さん、木下裕子さん

部会日：今まで通り第1木曜日 19：00～

◎中止になりました。(雨予報のため)

- 10/25 岩・千石岩
- 11/9 一般・比良

◎追加になりました。

- 1/16 雪・金剛山 CL 旭、SL 木地・山下美
- 3/13 一般・六甲シェール槍 CL 旭、SL 木地
- 2/23～25 雪・裏磐梯 CL 峯尾、SL 草場眞
- 12/7 一般・あちこちポンポン山 CL 林正、SL 和泉・小西
- 12/18 一般・鏡山～城山 CL 猪倉美、SL 深田
- 2/16 雪・小出石、ナツチョ CL 猪倉清
- 3/5 雪・広河原～小野村割岳 CL 猪倉清、SL 猪倉美
- 12/15 超らく・天王山 17 烈士墓近辺 CL 山下美、SL 安井昇
- 12/18 ビスターリ・山科～大文字 7 CL 山下美、SL 安井昇
- 12/26 健脚・蓬莱狭・六甲最高峰 CL 田村太



▲ 10 月末の富士山。今年はこの時期としては雪が多い。

第 12 回教育部会の報告

日 時：11 月 18 日（木）19：00～20:30

場 所：西山事務所

出席者：安達正明 和泉奈緒美 以西貞子 永柳辰夫 北千恵子
木地弘恵 久保まさ子 島田江里子 西尾久枝 能登恵美子
馬場重明 福田設子（12/19 名）

■前回の部会から今日までの取り組み結果について 良かった点、
問題点 感想など報告

①11 月 6 日（土）読図山行 瓢箪崩山（CL 池澤 SL 馬場）

読図で一番大事なことは『自分は今どこにいるのか』

地形を見て、地図を見て、確定する。6 人参加。

山行が 3 件重なったこともあって、参加者が少なくて残念。

出発点でコンパスの使い方から学ぶ。

■次回部会までの取り組みについて、リーダーから案内 注意点など

①12 月 5 日（日）愛宕山ペース登山（CL 島田 SL 北）

下山コース 大杉谷

②12 月 12 日（日）愛宕山ペース登山（CL 木地 SL 福田）

下山コース 保津峡

③2 月 19 日（日）初歩の岩山歩き 和気アルプス（一般）

（CL 馬場 SL 能登）

■「第 35 期の活動報告と第 36 期の活動方針」

*総会に提出の本文と資料（35 期の取り組みと結果）を説明する。

*会計報告（能登）

*退部・・・上田真由美 高田千代

*入部希望・・・八瀬河清美

■36 期の活動計画と役割分担について

第 1 回部会で最終確認・決定する。

*1 月 15 日（土）雪山学習会（座学）雪山の装備など

*2 月 19 日（土）雪山体験（CL 馬場 SL 安達）

■第 1 回部会 12 月 16 日（木）7：00～

35期第10回組織部会報告

2021.11.03

場所：事務所2F 19:00～

司会：夏原典子 記録者吉田京子

出席者：旭眞 岡庭美恵子 加藤ゆり 操谷俊之 岸本貴美男
春豊子 夏原典子 吉田京子 横井重信

議題1 集中登山について（中止の対応）

- ・雨は当日朝には止む予報だったが、長引いた。
- ・前日夜には連絡を入れるべきだった。（小雨の対応）
- ・既に集合場所に着いた方、電車、バスなど乗車していた方もいた。中止に納得出来ない声もあった。
- ・必要事項は見えやすいよう最初に記載してほしい、運営委員から担当者への締め切り期日、担当者の連絡先の明記、山行はランクではなく番号で表してほしいという意見などが寄せられていた。

◎雨天の場合の対応は、前日の降水確率で前日に決定する。

◎今回のコースを山行として実施するか検討中。（春以降）

議題2 来年度の体制

○部長 横井重信 ○副部長 旭眞 ○副部長 春豊子

・部長が先月から決まらなかった。無理をお願いして、横井さんに受けていただくことになった。部長の負担軽減の為、2つの行事、クリーンハイク、集中登山は担当で立案からまとめまで担う。部員で協力して進めていく事を確認した。

○次回部会（忘年会） 12月1日（水）

司会 山下美喜子 記録 横井重信

ふっと思い出したこと

久世谷登志子

だいぶ以前のことだが、レストランでぼけーっとランチを待っていたら、下記の言葉が壁に貼ってあった。どこかの偉いお坊さんの言葉らしい。自分のことを言われている様で面白く、なるほどと納得して、書き写してきた。

最後の「長いつもりで短いのは一生。いつ死んでもよし、いつまで生きてもよし」というのが、特に気に入って、そんなに深刻に考えなくてもいいんだと、自分の都合のいい様に解釈した。

その時は、もう少し若かったが、月日のたつのが早くて、あっと言う間に何でも過去になっている。楽しみにしている先の山歩きも気が付いたらもう過ぎている。人生過去ばかりというのが、今の私の実感である。が、もう少し、余生？を楽しむことにしよう！

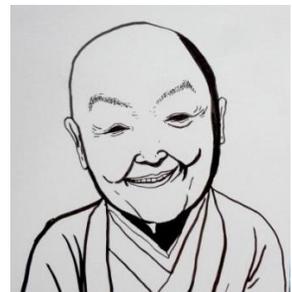
開運福寿の秘伝

1. 高いつもりで低いのは教養 低いつもりで高いのは気位
2. 深いつもりで浅いのは知識 浅いつもりで深いのは欲
3. 厚いつもりで薄いのは人情 薄いつもりで厚いのは面の皮
4. 強いつもりで弱いのは根性 弱いつもりで強いのは我尊
5. 多いつもりで少ないのは分別 少ないつもりで多いのは無駄

長いつもりで短いのは一生

いつ死んでもよし、いつまで生きてもよし

寂聴さんが亡くなった。晩年の寂聴さんはキュートでチャーミング、私のアイドルであった。寂しい。



ごくろうさまでした！

2021年11月 山下美喜子

中村さん 長い間の運営委員、会長など、ご苦労様でした。有難うございました。膝が悪い時の町歩き。立山、北穂高岳、旭岳、トムラウシ山。春の雪残る涸沢、蝶が岳。スノーシューの上高地、乗鞍、八が岳。テント泊の山城森林センター、大江山、マキノ、竜の小屋、そして、京都トレイル、京北トレイル、比叡山、北山、などなど。また、外国ネパール2回。サンタさんとの出会いは最高でした。思えば、たくさんの山行に連れてくださいました。「CL中村」の背中を見て、たくさんの事を学ばせていただきました。今、CLが出来ているのも過言ではないくらい、いつも後ろをついて、学んできたように思います。着いてすぐ、借りたスノーシューが壊れた時、靴底がはがれた時、お世話になりましたね！運営委員会では、おおらかなとらえ方が、さすがだなーと思っていました。組織をしっかりとめ大波小波を乗り越えて今あること。頭が下がります。たいへんですねーと声をかけると、いつも「好きなことをやっているだけや」と大変ぶったことは一度もなかったですね。不出来な私ですが、これからももっともって中村さんの知っている山に連れていただきたいし、たくさんの事を学ばせてほしいと思っています。ますますのご活躍を期待致します！

「大きな山にも 身近な山にも 名もない山にも
楽しみを 見つけたいものです」

2021年 中村さんの年賀状より
(同感しまして、残しています。引用させていただきました)



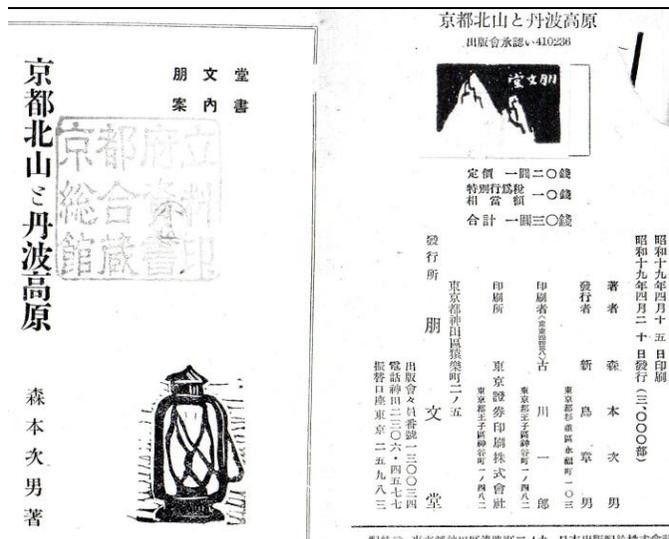
右から二つ目が祖母山

愛宕山閑話その(二)

松宮 秀隆

昔、愛宕山には電車とケーブルで

先月号で林ただしさんが愛宕山登山での熊笹の思い出を書かれていた。私も50数年前に廃村田尻から地藏山を登ったことがある。物凄い熊笹で背丈を越すトンネルのようで立って歩けない。地面に這いつくばって登頂したことを覚えている。その頃の私の登山の手引きが森本先生の「京都北山と丹波高原」の本であった。その本が今はどこに行ったのか見当たらない。そこで先日京都歴史館に行って下記の昭和19年発刊の著作を見つけた。同書では北山歩きについて『常に軍手をはめ、ズボンは藪で破れないように膝から上を二重につきあて、腰には山刀、鋸、鎌を下げ、こうした異様な風態の一体が休日という休日を北山や丹波高原に暮らしていた』と記されている。この書の初版は昭和13年で、当時の愛宕山について『四条大宮から嵐電で嵐山へ。嵐山からは愛宕電鉄で清滝。さらにケーブルで愛宕神社へ』と記述。登山コースというよりは信仰の山として紹介されている。



『私はいったい、何と闘っているのか』

つぶやきシロー著 小学館文庫

鈴木洋一

地元で8店舗を構えるスーパーに勤めている伊澤春男 45歳、妻の律子、長女の小梅、次女の香菜子、長男亮太の5人家族。

同じ店舗に25年勤務している万年主任。店の従業員には頼りにされているが、どことなく軽く見られている。家庭でも同じだ。まさに、テレビで見ていた”つぶやきシロー”が伊澤春男そのもの。自伝と思って読んでいくと実は違った。予想に反して物語は、二転三転し、読み手を物語の中に引き込んでいく。

読者は当然の結果だと受け止めながらも「ガンバレ」と応援、後押しをしたくなる作品。

映画 『私はいったい、何と闘っているのか』

2021年12月17日公開予定

監督 季鬨士男

キャスト 安田顕 小池栄子 岡田結実 伊集院光

ファースト・サマーウィカ 白石和子

テレビでダウンタウンやトンネルズ等のバラエティー番組ディレクターを務めた季鬨士男、映画監督として「お父さんのバックドロップ」で監督デビュー。その後「てえいでかんかん〜海とサンゴと小さな奇跡」「家に帰ると妻が必ず死んだふりをしています」「体脂肪計、タニタの社員食堂」などコミカルでしかもハートフルな作品を世に送り出している。

「私はいったい何と闘っているにか」も小説にさらに磨きをかけ、笑いを取りながらも何と無く納得させられ、応援したくなる作品になっているのではないだろうか。

今月の行事予定

2021年12月

月	日	曜日	行事予定	月	日	曜日	行事予定
12	1	水	阿武山 小塩山★ 組織部会	12	21	火	天王山トレーニング 機関誌作成
	2	木	天王山トレーニング 山行部会		22	水	enjoy大文字山 パッチワーク
	3	金			23	木	天王山トレーニング
	4	土	島本尾根★ 六甲全縦走分割①★		24	金	
	5	日	愛宕山ペース登山		25	土	目俵インドアクライミング
	6	月	古都まち歩き 堀川通下ル		26	日	蓬莱峡・六甲最高峰
	7	火	天王山トレーニング あちこちポンポン山周辺		27	月	
	8	水	箕裏ヶ岳 インドアやまびこ		28	火	
	9	木	天王山トレーニング 運営委員会		29	水	
	10	金			30	木	
	11	土	立木山・袴腰山 小谷城 いろんな道からポンポン山		31	金	
	12	日	愛宕山ペース登山	1	1	土	
	13	月	雲山峰		2	日	
	14	火	天王山トレーニング パッチワーク		3	月	
	15	水	天王山十七烈士墓近辺 原稿締め切り		4	火	天王山トレーニング
	16	木	天王山トレーニング 教育部会		5	水	組織部会
	17	金	乙訓散策		6	木	天王山トレーニング 山行部会
	18	土	鏡山～城山 小関越え		7	金	
	19	日	和気アルプス・神ノ上山 八王子山・神宮寺山		8	土	新春愛宕
	20	月	オカリナ		9	日	新春愛宕

- * 1月号の原稿締切は12月15日厳守！
- * 機関誌編集と印刷製本は、当面の間、機関誌部員で行います。
- * 機関誌に乱丁等ありましたら取り替えますので、機関誌部長あて連絡ください。
- * 西山HCの機関誌、印刷物等は再生紙を使用しています。
- * 11月20日以後に決まった日程は、ここに反映されていません。
- * 1月号の感想文は、上脇和子宛にお願いします。
- * 山行報告は、谷口信子宛にお願いします。

私たちの合い言葉

- 山を身近なものにするために力を合わせよう。
- 登山によって健康な体と豊かな心を育てよう。
- 登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- 多くの人たちと交流し山を愛する仲間を増やそう。
- 力をあわせて登山のモラルと技術を高めよう。
- 安全で確実な登山思想を身につけよう。
- 豊かな自然を守り発展させよう。



発行 2021年12月1日

発行所 京都府勤労者山岳連盟
西山ハイキングクラブ

発行者 馬場重明
京都府向日市寺戸町瓜生4-60

編集責任者 福井京子

事務局 依田敏夫 Tel/Fax 075(392)4914
〒615-8101 京都市西京区川島東代町38-15

HPアドレス http://web.kyoto-inet.or.jp/people/adachi_m/



Web サイト